



滋賀県立大学
平成29（2017）年度
講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110121	英語 A (活性化コース) (人文)	渡 寛法	前期	1
1110122	英語 B (活性化コース) (人文)	渡 寛法	後期	3
1110131	英語 A (活性化コース) (人文)	香山 恵美	前期	5
1110132	英語 B (活性化コース) (人文)	香山 恵美	後期	7
1110141	英語 A (活性化コース) (人文)	佐久間 思帆	前期	9
1110142	英語 B (活性化コース) (人文)	佐久間 思帆	後期	11
1110151	英語 A (活性化コース) (人文)	西澤 裕一	前期	13
1110152	英語 B (活性化コース) (人文)	西澤 裕一	後期	15
1110161	英語 A (活性化コース) (人文)	関 初海	前期	17
1110162	英語 B (活性化コース) (人文)	関 初海	後期	19
1110331	英語 A (応用コース) (人文)	Carl John Boland	前期	21
1110332	英語 B (応用コース) (人文)	Carl John Boland	後期	23
1110341	英語 A (応用コース) (人文)	Armando Duarte	前期	25
1110342	英語 B (応用コース) (人文)	Armando Duarte	後期	27
1110351	英語 A (応用コース) (人文)	Ashley Mark Stevens	前期	29
1110352	英語 B (応用コース) (人文)	Ashley Mark Stevens	後期	31
1110361	英語 A (応用コース) (人文)	Gordon Maclaren	前期	33
1110362	英語 B (応用コース) (人文)	Gordon Maclaren	後期	35
1110371	英語 A (応用コース) (人文)	Karl Hedberg	前期	37
1110372	英語 B (応用コース) (人文)	Karl Hedberg	後期	39
1110531	英語 A (充実コース) (人文)	西澤 裕一	前期	41
1110532	英語 B (充実コース) (人文)	西澤 裕一	後期	43
1110541	英語 A (充実コース) (人文)	渡 寛法	前期	45
1110542	英語 B (充実コース) (人文)	渡 寛法	後期	47
1110551	英語 A (充実コース) (人文)	Walter Klinger	前期	49
1110552	英語 B (充実コース) (人文)	坂本 輝世	後期	51
1110561	英語 A (充実コース) (人文)	佐久間 思帆	前期	53
1110562	英語 B (充実コース) (人文)	佐久間 思帆	後期	55
1110571	英語 A (充実コース) (人文)	Carl John Boland	前期	57
1110572	英語 B (充実コース) (人文)	Carl John Boland	後期	59
1110741	英語 A (展開コース) (人文)	坂元 敦子	前期	61
1110742	英語 B (展開コース) (人文)	坂元 敦子	後期	63
1110751	英語 A (展開コース) (人文)	吉田 亞矢	前期	65
1110752	英語 B (展開コース) (人文)	吉田 亞矢	後期	67
1110761	英語 A (展開コース) (人文)	坂元 敦子	前期	69
1110762	英語 B (展開コース) (人文)	坂元 敦子	後期	71
1110771	英語 A (展開コース) (人文)	真田 満	前期	73
1110772	英語 B (展開コース) (人文)	真田 満	後期	75
1110781	英語 A (展開コース) (人文)	坂本 輝世	前期	77
1110782	英語 B (展開コース) (人文)	坂本 輝世	後期	79
1130090	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文a)	森 将豪	前期	81
1130100	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文b)	亀田 彰喜	前期	83
1130110	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文c)	森 将豪	前期	85
1130120	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文d)	山本 洋紀	前期	87
1130200	情報科学概論 (人文b) 亀田 彰喜		後期	89
1130210	情報科学概論 (人文a) 森 将豪		後期	91
1130220	情報科学概論 (人文c) 森 将豪		後期	93
1130230	情報科学概論 (人文d) 亀田 彰喜		後期	95
1150370	人間探求学 (生活栄養) 学科教員		前期	97
1150451	川の未来学 村上 修一		前期	99
1150540	History of Japanese Cinema Carl John Boland		前期	101
1150550	Patterns in Japanese Culture & Society Carl John Boland		後期	103
1150560	Model United States of America Benjamin John McCracken		前期	105
1150570	Model United Nations Benjamin John McCracken		後期	107
1400100	運動と健康 中井 直也		後期	109
1400120	栄養疫学論 今井 絵理		後期	111
1400151	栄養教育論 廣瀬 潤子		前期	113
1400152	栄養教育論 廣瀬 潤子		後期	115
1400153	栄養教育論 (カウンセリング論演習を含む) 廣瀬 潤子		後期	117
1400154	栄養教育論 廣瀬 潤子		前期	119
1400160	栄養教育論実習 廣瀬 潤子		前期実習	121
1400190	栄養生化学 福渡 努		前期	123
1400200	栄養生化学実験 福渡 努		後期前半	125
1400210	栄養生理学実習 矢野 仁康		前期実習	127
1400220	栄養と健康 福渡 努		後期	129
1400240	応用栄養学 今井 絵理		前期	131
1400250	応用栄養学 今井 絵理		後期	133
1400255	応用栄養学 今井 絵理		前期	135
1400260	応用栄養学実習 今井 絵理		前期実習	137
1400350	環琵琶湖文化論実習 (生活栄養) 学科教員		通年	139
1400380	管理栄養士総合演習 矢野 仁康		前期集中	141
1400400	基礎栄養学 福渡 努		後期	143
1400410	基礎栄養学 福渡 努		前期	145
1400420	基礎栄養学実験 福渡 努		前期集中	147
1400450	給食衛生管理実習 小澤 恵子		前期	149

1400461	給食経営管理実習	小澤 恵子	前期	...	151
1400470	給食経営管理臨地実習	小澤 恵子	前期実習	...	153
1400480	給食経営管理論	小澤 恵子	前期	...	155
1400620	健康情報管理実習	亀田 彰喜	後期実習	...	157
1400630	健康心理学	粟谷 初子	後期	...	159
1400790	公衆衛生学	未定*	後期集中	...	161
1400800	公衆栄養学	今井 絵理	前期	...	163
1400810	公衆栄養学実習	今井 絵理	後期実習	...	165
1400950	嗜好と調理実習	谷口 美津子	後期	...	167
1400960	嗜好と調理実習	小澤 恵子	前期	...	169
1400990	疾病と栄養	矢野 仁康	前期	...	171
1401000	疾病の成り立ち	矢野 仁康	前期	...	173
1401170	社会福祉概論	頼尊 恒信	後期	...	175
1401380	消費生活論	小牧 美江	後期	...	177
1401400	食品衛生学	佐野 光枝	前期	...	179
1401410	食品衛生学実験	佐野 光枝	後期集中	...	181
1401420	食品学総論	佐野 光枝	前期	...	183
1401430	食品加工実習	福渡 努	後期	...	185
1401440	食品基礎実験	中井 直也	後期	...	187
1401450	食品機能科学	佐野 光枝	後期	...	189
1401460	食品機能科学実験	佐野 光枝	後期後半	...	191
1401470	食品の調理と加工	小川 正	前期	...	193
1401480	食品微生物学	浦部 貴美子	前期	...	195
1401490	食料経済システム論	増田 佳昭	前期	...	197
1401540	心理学基礎	後藤 崇志	前期	...	199
1401541	入ボ-ツ栄養学	中井 直也	後期	...	201
1401546	生活栄養論演習	学科教員	後期	...	203
1401548	生活栄養論演習	学科教員	通年	...	205
1401560	生活経営論	山田 歩	後期	...	207
1401730	生体の構造と機能	矢野 仁康	後期	...	209
1401740	生命科学と人間	未定*	後期	...	211
1401781	専門外書講義	矢野 仁康	後期	...	213
1401810	卒業研究・論文(生活栄養)	学科教員	通年研究	...	215
1402040	地域保健臨地実習	今井 絵理	前期実習	...	217
1402280	天然物化学基礎	遠藤 弘史	前期	...	219
1402360	統計学基礎	細馬 宏通	前期	...	221
1402530	人間行動論	細馬 宏通	後期	...	223
1402540	人間文化論A	細馬 宏通	前期	...	225
1402550	人間文化論B	定森 秀夫	後期	...	227
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	...	229
1402670	比較食文化論	的場 輝佳	前期集中	...	231
1402750	病態生理学実習	矢野 仁康	後期実習	...	233
1402760	病態評価と治療	矢野 仁康	後期	...	235
1402990	分子生物学基礎	佐野 光枝	前期	...	237
1403130	臨床栄養学	奥村 万寿美	後期	...	239
1403140	臨床栄養学	奥村 万寿美	前期	...	241
1403141	臨床栄養学	奥村 万寿美	後期	...	243
1403151	臨床栄養学実習	奥村 万寿美	後期	...	245
1403152	臨床栄養学実習	奥村 万寿美	前期	...	247
1403153	臨床栄養学実習	未定*	後期	...	249
1403160	臨床栄養活動論	小澤 恵子	後期	...	251
1403170	臨床栄養臨地実習	奥村 万寿美	前期実習	...	253
1403180	臨床栄養臨地実習	奥村 万寿美	前期実習	...	255
1403200	臨地実習事前事後指導	奥村 万寿美	前期実習	...	257

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美	
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキミングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト (2回)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美	
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキミングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト (2回)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後に課題の提出が毎回あります。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST Revised Edition	妻鳥千鶴子、田平真澄	センゲージラーニング	978-4-86312-293-2
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)							担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後に課題の提出が毎回あります。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST Revised Edition	妻鳥千鶴子、田平真澄	センゲージラーニング	978-4-86312-293-2
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)							担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
5. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとっていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	97848600133
2	キクタンTOEIC TEST SCORE 500	一杉武史	アルク	9784757428584
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	Roman Holiday (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	Roman Holiday (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	Roman Holiday (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	Roman Holiday (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	Roman Holiday (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	Roman Holiday (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	Roman Holiday (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	Roman Holiday (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	Roman Holiday (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	Roman Holiday (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	Roman Holiday (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	Roman Holiday (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	Roman Holiday (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	Roman Holiday (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	Roman Holiday (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	Roman Holiday (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	Roman Holiday (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	Roman Holiday (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	Roman Holiday (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	Roman Holiday (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	Roman Holiday (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	Roman Holiday (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	Roman Holiday (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	Roman Holiday (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	Roman Holiday (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	Roman Holiday (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	Roman Holiday (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	Roman Holiday (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)							担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
5. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	97848600133
2	キクタンTOEIC TEST SCORE 500	一杉武史	アルク	9784757428584
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	Roman Holiday (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	Roman Holiday (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	Roman Holiday (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	Roman Holiday (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	Roman Holiday (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	Roman Holiday (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	Roman Holiday (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	Roman Holiday (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	Roman Holiday (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	Roman Holiday (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	Roman Holiday (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	Roman Holiday (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	Roman Holiday (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	Roman Holiday (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	Roman Holiday (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	Roman Holiday (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	Roman Holiday (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	Roman Holiday (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	Roman Holiday (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	Roman Holiday (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	Roman Holiday (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	Roman Holiday (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	Roman Holiday (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	Roman Holiday (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	Roman Holiday (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	Roman Holiday (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	Roman Holiday (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	Roman Holiday (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海	
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、国際紛争、国際協力、戦争、平和といったトピックを扱い、グローバル社会に生きる大学生に必要な社会問題に関する基礎知識を英語で学びます。そして、学んだ知識を英語で発信できるようにします。さらに、TOEIC受験を視野に入れ、プリント教材を用いて、TOEICの問題形式に慣れてもらい、スコアアップを目指します。

到達目標

- (1) 英語の語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上
- (6) TOEICスコアをアップさせる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	40	到達目標(2), (6)について2回の到達確認テストで評価(30%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa他	南雲堂	9784523177418
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海	
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、国際紛争、国際協力、戦争、平和といったトピックを扱い、グローバル社会に生きる大学生に必要な社会問題に関する基礎知識を英語で学びます。そして、学んだ知識を英語で発信できるようにします。さらに、TOEIC受験を視野に入れ、プリント教材を用いて、TOEICの問題形式に慣れてもらい、スコアアップを目指します。

到達目標

- (1) 英語の語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上
- (6) TOEICスコアをアップさせる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	40	到達目標(2), (6)について2回の到達確認テストで評価(30%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa他	南雲堂	9784523177418
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Carl John Boland	
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, 'socially interactive' classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	Mid-Term Writing Test
上記以外	75	Mid-Term Speaking Test (25%), Final Speaking Test (50%).

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Carl John Boland	
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, 'socially interactive' classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	Mid-Term Writing Test
上記以外	75	Mid-Term Speaking Test (25%), Comedy Sketch Performance Test (50%).

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Armando Duarte	
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher meets with each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read their essay or story aloud and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Portfolio: Students write 8 textbook writing assignment essays.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	In-class final: Choose one of your 8 writings and orally present it to the class. You will be assessed according to the speaking and writing rubrics.
レポート課題	50	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each, Writing Objective 3 - 50%
上記以外	20	Writing portfolio - Homework assignments from weeks 2-7 and 9-13. Total 8 essays. Show your essays to the teacher for corrections as you finish each essay. Show your collection of corrected essays to the teacher in weeks 14-15.

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 学生はクラスを3回以上欠席すると毎回欠席は採点から3点減らす。Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Armando Duarte	
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別			
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

If you miss more than 5 classes, you will not be able to pass the class. Also, if you are more than 30 minutes late, you will be marked as absent for that day.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 3		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3039-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)							担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Written Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Writing Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon Maclaren	
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)							担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰 (監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰(監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English speaking and writing skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits.
 Students write a one or two-page essay. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write better sentences. Students next read aloud their essay and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, in the mid-term test, students read aloud their essays to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.
 For the final test, students say aloud to the teacher 4 pictures of everyday action sequences. Students also show to the teacher their written story about everyday events. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Final Test: Action English Pictures & Never Ending Story. Students meet with the teacher one-by-one and say what is happening in 4 Action English Pictures that we studied in class. Each Speaking Objective is worth 25%. Students also show their written Never Ending
レポート課題		
上記以外	50	Mid-term Speaking & Writing test: Essay. Students read aloud to the teacher their original written essay. Speaking and Writing are each 50%. Each Speaking Objective on the rubric is worth 25% of the Speaking section. Writing Objectives 1 & 3 on

授業外学習

Homework:
One hour per week.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

HandoutsはHPからダウンロードできる。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世	
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、リスニングとスピーキングを中心に英語の全般的な能力を総合的に高めることを目的とする。ABC World Newsを用いたテキストでは、実際に放映されたニュースを視聴し、時事問題についても学んでいく。リスニング・ジャーナルなどの宿題や毎週のクイズ、クラスでのアクティビティに積極的に取り組んで、さらに英語力を伸ばしていただきたい。

到達目標

- (1) スピーキング力を向上させる
- (2) リスニング力を向上させる
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションする経験を積む
- (4) 時事問題への理解を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	到達目標 (1) について、期末英語スピーチによって評価
レポート課題		
上記以外	75%	到達目標 (1) について、単語クイズによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、リスニング・ジャーナルによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、聞き取りクイズによって評価 (15%)

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週1回のクラスだけではできません。Listening Journalなどに積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 19	Shigeru Yamane/Kathleen Yamane	金星堂	9784764740310
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになつての演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストと台詞和訳の提出課題が毎回あります。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でもよいので辞書を持参のこと。

前提学力等

3回生以上の特例処置で再履修を希望する学生は、本シラバスの内容に同意し、初回に出席しなければ受講を認めません。

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)							担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになつての演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストと台詞和訳の提出課題が毎回あります。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でもよいので辞書を持参のこと。

前提学力等

3 回生以上の特例処置で再履修を希望する学生は、本シラバスの内容に同意し、初回に出席しなければ受講を認めません。

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Carl John Boland	
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, 'socially interactive' classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	Mid-Term Writing Test
上記以外	75	Mid-Term Speaking Test (25%), Final Speaking Test (50%).

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Carl John Boland	
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, 'socially interactive' classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	Mid-Term Writing Test
上記以外	75	Mid-Term Speaking Test (25%), Comedy Sketch Performance Test (50%).

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)							担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

この授業では、旅行に関する英語表現を学びながら総合的な英語力をつけ、世界の人とコミュニケーションができるような力をつけることを目指します。テキストは出入国や機内での会話、現地で道を聞く、掲示を読む、書類に記入する、ホテルにチェック・インする、レストランで食事をする・・・といった具体的なシーンを扱っており、こうした状況の会話をペアやグループで練習することにより基本的な表現を身につけます。また、海外でよく遭遇する文化の違い・常識の違いなどについても授業で紹介していきます。旅行に関連する英語はTOEICにしばしば出題されますから、TOEICの対策にもなります。授業ではTOEICの問題にも取り組み、高得点取得を目指します。

到達目標

- (1) テキストで扱われる旅行に関連する表現を理解し、使えるようになる。
- (2) 授業で学んだ表現をもとに、さらに自宅で学習やリサーチしたことを提出する。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)については中間・期末の試験で評価する。
レポート課題	20%	到達目標(2)については、課題の提出によって評価する。
上記以外	40%	到達目標(3)については、授業内のアクティビティへの積極的な参加によって評価する(30%)。 到達目標(4)については、授業で行うTOEIC模擬試験によって評価する(10%)。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。授業で配布されるプリントを保管し、それをを用いて学習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)							担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

この授業では、前期に学習した旅行に関する英語表現をさらに発展させて学び、総合的な英語力をつけ、世界の人とよりスムーズにコミュニケーションできる力をつけることを目指します。テキストは現地で電話をかける、買い物をする、ホテルのチェック・アウトをする、問題を解決する・・・といった具体的なシーンを扱っており、こうした状況の会話をペアやグループで練習することによりよりスムーズに表現できる力を身につけます。また、海外でよく遭遇する文化の違い・常識の違いなどについても授業で紹介していきます。旅行に関連する英語はTOEICにしばしば出題されますから、TOEICの対策にもなります。授業ではTOEICの問題にも取り組み、高得点取得を目指します。

到達目標

- (1) テキストで扱われる旅行に関連する表現を理解し、よりスムーズに使えるようになる。
- (2) 授業で学んだ表現をもとに、さらに自宅で学習やリサーチしたことを提出する。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)については中間・期末の試験で評価する。
レポート課題	20%	到達目標(2)については、課題の提出によって評価する。
上記以外	40%	到達目標(3)については、授業内のアクティビティへの積極的な参加によって評価する(30%)。 到達目標(4)については、12月に実施されるTOEIC試験によって評価する(10%)。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。授業で配布されるプリントを保管し、それをを用いて学習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

世界で使用されている様々な英語を“World Englishes”と呼ぶことがあるが、今や英語は英語母語話者と話すためだけに必要な言語ではなく、この呼称が物語るように、英語非母語話者の人々との意思疎通を図るためにも有用な言語である。前期は、世界各国を旅するレポーターからの英語ニュースとインタビューを視聴しながら、その国の言語・文化への理解を深めつつ、総合的な英語力を養う。テキストの各章は、リーディングとリスニングの構成になっているが、英語でレポートを作成したり(ライティング)、英語の質問に対して英語で答え、それを録音する(スピーキング)などの課題も随時提示される。受講者には、翻訳作業を除いて、可能な限り英語で受け答えをし、ディスカッションすることが求められる。

到達目標

- (1) “World Englishes” の概念を理解し、それについて自らの意見を述べる
- (2) 各国の旅事情、世界の英語事情について議論し、その結果を英語で発表する
- (3) 世界の国々の特色について、英語で簡潔に説明する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、期末テストを行い、全体の40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(2)について、到達度確認テストを行い、全体の30%として評価。 到達目標(3)について、隔週の小テスト(10%)および各回のレポート作成・録音作業(20%)にて全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものは無い。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	On Board for More World Adventures	Scott Berlin・小林めぐみ	金星堂	978-4-7647-3991-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English as a Global Language	David Crystal	Cambridge University Press	978-1107611801
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)							担当教員	吉田 亞矢
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

前期に引き続き、世界各国を旅するレポーターからの英語ニュースとインタビューを視聴しながら、その国の言語・文化への理解を深めつつ、英語の四技能（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養う。後期は特に、英語が世界共通語と呼ばれるまでに至った背景的知識を得るため、サブテキストとしてDavid Crystal著 English as a Global Language を参照する。前期同様、受講者には、翻訳作業を除いて、可能な限り英語で受け答えをし、ディスカッションすることが求められる。リーディングとリスニング問題を軸に、英語でレポートを作成したり（ライティング）、英語の質問に対して英語で答え、それを録音する（スピーキング）などの課題も随時提示される。

到達目標

- (1) “World Englishes” に関する発展問題に、自らの意見や引用文を用いて解答する
- (2) 世界の旅事情、今後の英語事情について議論し、その結果を英語で発表する
- (3) 世界の国々の特色について、英語で詳細に説明する

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (1) について、期末テストを行い、全体の40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (2) について、到達度確認テストを行い、全体の30%として評価。 到達目標 (3) について、隔週の小テスト(10%)および各回のレポート作成・録音作業(20%)で評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	On Board for More World Adventures	Scott Berlin・小林めぐみ	金星堂	978-4-7647-3991-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English as a Global Language	David Crystal	Cambridge University Press	978-1107611801
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)							担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

この授業では、旅行に関する英語表現を学びながら総合的な英語力をつけ、世界の人とコミュニケーションができるような力をつけることを目指します。テキストは出入国や機内での会話、現地で道を聞く、掲示を読む、書類に記入する、ホテルにチェック・インする、レストランで食事をする・・・といった具体的なシーンを扱っており、こうした状況の会話をペアやグループで練習することにより基本的な表現を身につけます。また、海外でよく遭遇する文化の違い・常識の違いなどについても授業で紹介していきます。旅行に関連する英語はTOEICにしばしば出題されますから、TOEICの対策にもなります。授業ではTOEICの問題にも取り組み、高得点取得を目指します。

到達目標

- (1) テキストで扱われる旅行に関連する表現を理解し、使えるようになる。
- (2) 授業で学んだ表現をもとに、さらに自宅で学習やリサーチしたことを提出する。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)については中間・期末の試験で評価する。
レポート課題	20%	到達目標(2)については、課題の提出によって評価する。
上記以外	40%	到達目標(3)については、授業内のアクティビティへの積極的な参加によって評価する(30%)。 到達目標(4)については、授業で行うTOEIC模擬試験によって評価する(10%)。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。授業で配布されるプリントを保管し、それをういて学習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)							担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

この授業では、前期に学習した旅行に関する英語表現をさらに発展させて学び、総合的な英語力をつけ、世界の人とよりスムーズにコミュニケーションできる力をつけることを目指します。テキストは現地で電話をかける、買い物をする、ホテルのチェック・アウトをする、問題を解決する・・・といった具体的なシーンを扱っており、こうした状況の会話をペアやグループで練習することによりよりスムーズに表現できる力を身につけます。また、海外でよく遭遇する文化の違い・常識の違いなどについても授業で紹介していきます。旅行に関連する英語はTOEICにしばしば出題されますから、TOEICの対策にもなります。授業ではTOEICの問題にも取り組み、高得点取得を目指します。

到達目標

- (1) テキストで扱われる旅行に関連する表現を理解し、よりスムーズに使えるようになる。
- (2) 授業で学んだ表現をもとに、さらに自宅で学習やリサーチしたことを提出する。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)については中間・期末の試験で評価する。
レポート課題	20%	到達目標(2)については、課題の提出によって評価する。
上記以外	40%	到達目標(3)については、授業内のアクティビティへの積極的な参加によって評価する(30%)。 到達目標(4)については、12月に実施されるTOEIC試験によって評価する(10%)。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。授業で配布されるプリントを保管し、それをを用いて学習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	真田 満	
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

TEDからの素材を使い、英文を読み、Video教材を視聴することで、英語の読解力と聴解力を伸ばす。また、批判的にテキストを読み、聞く力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、聞くだけの受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書き、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	真田 満	
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

TEDからの素材を使い、英文を読み、Video教材を視聴することで、英語の読解力と聴解力を伸ばす。また、批判的にテキストを読み、聞く力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、聞くだけの受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書き、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世	
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

この授業では、さまざまなアクティビティーによって、リスニングとスピーキングを中心に英語の全般的な能力を総合的に高めることを目的とする。ABC World Newsを用いたテキストでは、実際に放映されたニュースを視聴し、時事問題についても学んでいく。フリップライティングのテキストでは、50 words程度の比較的易しい英語を使って、自分の考えを英語で発信する練習を行う。リスニング・ジャーナルなどの宿題や毎週のクイズ、クラスでのアクティビティーに積極的に取り組んで、英語力を伸ばしていただきたい。

到達目標

- (1) スピーキング力を向上させる
- (2) リスニング力を向上させる
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションする経験を積む
- (4) 時事問題への理解を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	到達目標 (1) について、期末英語スピーチによって評価
レポート課題		
上記以外	75%	到達目標 (1) について、単語クイズによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、リスニング・ジャーナルによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、聞き取りクイズによって評価 (15%)

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週1回のクラスだけではできません。Listening Journalなどに積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 19	Shigeru Yamane/Kathleen Yamane	金星堂	9784764740310
2	Write Your Ideas in 50 Words	Tetsuhito Shizuka	松柏社	9784881986899
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世	
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

この授業では、前期に引き続き、リスニングとスピーキングを中心に英語の全般的な能力を総合的に高めることを目的とする。ABC World Newsを用いたテキストでは、実際に放映されたニュースを視聴し、時事問題についても学んでいく。フリップライティングのテキストでは、50 words程度の比較的易しい英語を使って、自分の考えを英語で発信する練習を行う。リスニング・ジャーナルなどの宿題や毎週のクイズ、クラスでのアクティビティに積極的に取り組んで、さらに英語力を伸ばしていただきたい。

到達目標

- (1) スピーキング力を向上させる
- (2) リスニング力を向上させる
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションする経験を積む
- (4) 時事問題への理解を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	到達目標 (1) について、期末英語スピーチによって評価
レポート課題		
上記以外	75%	到達目標 (1) について、単語クイズによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、リスニング・ジャーナルによって評価 (15%) 到達目標 (2) について、聞き取りクイズによって評価 (15%)

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週1回のクラスだけではできません。Listening Journalなどに積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 19	Shigeru Yamane/Kathleen Yamane	金星堂	9784764740310
2	Write Your Ideas in 50 Words	Tetsuhito Shizuka	松柏社	9784881986899
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)							担当教員	森 将豪
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術情報検索の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す (1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術情報検索の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	4130033050/978-4130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)							担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要なとされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)							担当教員	森 将豪
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術情報検索の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す (1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術情報検索の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	4130033050/978-4130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)							担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報科学概論(人文b)							担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論(人文a)							担当教員	森 将豪
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル	培風館	978-4563008390
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解(講義「情報リテラシー」を修得)していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文c)							担当教員	森 将豪
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル	培風館	978-4563008390
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解(講義「情報リテラシー」を修得)していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文d)							担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	人間探求学(生活栄養)						担当教員	学科教員/今井 絵理/遠藤 弘史/ 奥村 万寿美/小澤 恵子/佐野 光枝/ 中井 直也/東田 一彦/廣瀬 潤子/ 福渡 努/森 紀之/矢野 仁康	
講義コード	1150370	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	101HUM101								

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ(5~6名)に分け、担当教員が割り当てられる。

到達目標

自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	教員による質疑応答を行い学習内容の理解度を評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	川の未来学							担当教員	村上 修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本科目は、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる、川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票 市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学 吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	History of Japanese Cinema							担当教員	Carl John Boland
講義コード	1150540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

History of Japanese Cinema is a two-credit culture studies course that examines Japan's world-renowned cinematic output over the last one hundred years. The defining developmental periods and golden eras of Japanese cinema will be examined through the work of major studios, auteur directors and their landmark films. The course will contextualise changes within the film industry and aesthetic developments against the socio-cultural background of particular periods (e.g. post-war/late modern, postmodern).

到達目標

This course aims to:

1. Deliver a comprehensive introductory course on the history of Japanese narrative cinema; one tailored for students who are not film majors.
2. Instruct students on approaches to film analysis as a means to broaden their study of Japanese society and culture.
3. Encourage students to develop a scholarly appreciation of film.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	Mid-term paper (30%), Final Review paper (30%)
上記以外	40	Group Presentation: Film Review.

Students are required to write and submit two 'film review' papers (mid-term, final). Students will also complete a group presentation project - a critical review of a Japanese film.

授業外学習

This is a lecture-based course. Due to time limitations, only film clips will be screened in class. Students will be provided with access to lecture materials and readings online.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

No prior film studies knowledge is required. Non-native speakers of English should ideally have a solid intermediate skill level (e.g. TOEFL iBT score of around 70).

履修資格

講義名	Patterns in Japanese Culture & Society							担当教員	Carl John Boland
講義コード	1150550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This introductory Japan studies course sets out to critically examine paradigms that have shaped academic and lay perceptions of Japanese social structures, identity and collective consciousness. The selection of topic domains is intended to underpin a broad based contextual analysis of contemporary social issues facing Japan. Concordantly, this enquiry is supported by an interdisciplinary conceptual framework that draws on salient perspectives from sociology, social psychology and cultural studies. The course adopts a simple unit structure and a lecture / seminar format. Students will be expected to participate actively in seminar discussions.

到達目標

1. To introduce the research principles that define interdisciplinary sociocultural studies.
2. To encourage students to adopt an interdisciplinary perspective towards sociocultural studies of Japan.
3. To stimulate informed debate about contemporary issues affecting Japanese society.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	Essay
上記以外	60	Seminar Review Questions [30] / Participation in group work and class discussions [30].

Students are required to write and submit: (1) A short essay on a relevant topic from the course, (2) Long paragraph answers to 4 review questions taken from the seminar classes.

授業外学習

教科書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	Model United States of America							担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

Model USA is an educational simulation in which students will learn about the United States of America ("USA ") and its unique form of government. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a senator from one of the 50 states that make up the USA. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from the USA.

到達目標

(1) Students will learn about US history and how it impact the current policital environment. (2) Students will learn about the US governmental system and the role political parties play in it. (3) Students will learn current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their expereince.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the US. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	Model United Nations							担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

Model United Nations is an educational simulation in which students will learn about the United Nations (UN) and its role in the world. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a representative of from one of the many nations that make up the UN. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from around the world.

到達目標

(1) Students will learn about the history of the United Nations and how it impacts our world. (2) Students will learn about parliamentary procedure and how issues are debated at the UN. (3) Students will learn current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their experience.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the world. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	運動と健康							担当教員	中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1400100	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT341								

授業概要

スポーツや身体活動が健康に及ぼす影響を科学的に理解する。スポーツをはじめ身体活動が健康とどういふ点でかわりがあるかを科学的に説明する。一過性の運動によっておこる一時的変化や習慣的な運動によっておこる適応現象のメカニズムを明らかにするとともに、運動の必要性や運動と健康の関係について学ぶ。とくに、健康の維持・増進に役立つ運動生理学知見に焦点を絞り、運動と栄養摂取、運動とエネルギーの発生および変換、運動と筋・神経機能、運動と呼吸・循環機能、運動と環境適応、運動不足と生活習慣病、運動とエネルギー消費量および運動処方といった内容で行う。

到達目標

(1)運動の必要性や運動と健康の関係について理解する。(2)運動と種々の生体応答との関連を理解する。(3)一過性の運動によっておこる一時的変化や習慣的な運動によっておこる適応現象のメカニズムを理解する。(4)運動処方の進め方や内容を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	(1)～(4)レポート・到達度確認テストで評価する
上記以外	60	講義中のパフォーマンスで評価する

5回以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし。講義中にプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	栄養疫学論							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400120	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT314								

授業概要

地域・集団の公衆栄養プログラム実施のためには、地域や集団の健康や栄養の実態を正しく収集し、それをデータ解析し、問題点を明らかにすることが重要である。
そこでプラン作りのなる基礎となるアセスメントとしての栄養状態、健康状態の実態把握の方法としての栄養疫学の役割、栄養疫学調査の方法、食事摂取法の種類と解釈、栄養疫学で必要となる統計解析について学ぶ。

到達目標

- (1) 疫学の基本的な考え方と目的について説明できる。
- (2) 信頼度の高い疫学情報の収集と評価について説明できる。
- (3) 記述疫学、分析疫学、介入研究の基礎的な方法について説明できる。
- (4) 疫学に使用する指標について説明できる。
- (5) 疫学研究（食事調査を含む）と倫理について説明できる。
- (6) 記述疫学の方法と健康情報の収集および疫学指標について理解できる。
- (7) 疫学に使用する指標（相対危険度、オッズ比、寄与危険度等）について理解し、計算できる。
- (8) 栄養疫学に関する英文学術論文を検索し、必要な論文を抽出することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標に対し、課題レポートで評価する。
上記以外	50	到達目標に対し、小テスト（2回）で評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆栄養学（第5版）	古野純典	南江堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

公衆栄養学を履修していることが必須。

履修資格

講義名	栄養教育論							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1400151	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT361								

授業概要

栄養教育の歴史の変遷より栄養教育の必要性と重要性を理解し、栄養教育の対象のニーズに応じた行動科学理論モデルを習得する。カウンセリング技法を理解し、栄養教育場面での利用へ結び付ける

到達目標

(1) 栄養教育の歴史の変遷と現状が説明できる。(2) 諸外国の栄養問題と栄養教育の状況を説明できる。(3) 行動科学理論・モデルを理解し、全体像を説明できる。(4) カウンセリング技法について説明できる。(5) 理論を用いた教育場면을説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	85	到達目標項目(1)10%、(2)5%、(3)40%、(4)40%、(5)5%ずつとする。
レポート課題		
上記以外	15	小テストまたは授業態度(発言等)15%は各回1%ずつとする。

授業時間数の3分の一以上欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

理論やモデル、技法の使用事例について考察をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山玲子・宮崎由子編	化学同人	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	これからの栄養教育論	足立・衛藤・佐藤監訳	第一出版	9784804113210
2	ヘルス21栄養教育・栄養指導論	大野・辻編	医歯薬出版株式会社	
3				

授業中にプリント等を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	栄養教育論							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1400152	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT362								

授業概要

栄養教育のマネジメントサイクルについて理解する。栄養教育を行う上で必要なアセスメント方法について学修する。対象に合った栄養教育目標の設定方法について学修する。栄養教育の評価方法を学修する。栄養教育プログラムの作成と実施の実際を理解する。

到達目標

(1) 栄養マネジメントの概要を修得する(2) 栄養アセスメント方法を理解する(3) 対象者に合った栄養教育目標の設定できる(4) 栄養教育の評価方法を説明できる(5) 対象者に合った栄養プログラムを作成できる(6) 実際にどのような場所でどのようなプログラムを実施しているかを把握する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	85	期末試験85%(到達目標項目(1)10%、(2)20%、(3)20%、(4)15%、(5)20%、(6)15%、
レポート課題		
上記以外	15	小テストまたは講義態度15%は各回1%ずつで評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山・宮崎編	化学同人	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養教育論 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	栄養教育論 (カウンセリング論演習を含む)							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1400153	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT363								

授業概要

栄養教育にかかわる理論とモデルについて、具体的な活用事例とともに学修する。栄養教育にかかわる理論とモデルについて、具体的な活用事例とともにロールプレイングを実施し、理論を理解する。カウンセリングの意義と特性を理解し、カウンセリング技法を使った演習形式の実践を行う。各ライフステージ・ライフスタイル別の栄養課題を理解し、課題解決方法を提案できる。

到達目標

(1) 行動科学の理論とモデルの概要および具体的活用方法を実践できる。(2) 各ライフステージ別の特性および栄養課題を説明できる(3) 各ステージ別の栄養教育方法を提案できる。(4) 栄養教育関連組織の概要を説明できる。(5) 食環境づくりの現状と課題を説明できる。(6) 行動変容を目的としたカウンセリング技法を実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	定期試験80%は、到達目標項目(1)30%、(2)20%、(3)15%、(4)5%、(5)5%とし、到達目標(6)についてはロールプレイングの参加状況20%で評価する。
レポート課題		
上記以外	20	到達目標(6)については栄養カウンセリング論演習時のレポートおよび参加状況による評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山・宮崎編	化学同人	
2	栄養教育論実習	片井・川上・久保田編	講談社	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養カウンセリング論	赤松・永井著	化学同人	978-4759816143
2	ヘルス21栄養教育・栄養指導論	大野・辻編	医歯薬出版株式会社	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養教育論							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1400154	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

栄養教育のマネジメントサイクルについて理解する。栄養教育を行う上で必要なアセスメント方法について学修する。対象に合った栄養教育目標の設定方法について学修する。栄養教育の評価方法を学修する。栄養教育プログラムの作成と実施の実際を理解する。

到達目標

(1) 栄養マネジメントの概要を修得する(2) 栄養アセスメント方法を理解する(3) 対象者に合った栄養教育目標の設定できる(4) 栄養教育の評価方法を説明できる(5) 対象者に合った栄養プログラムを作成できる(6) 実際にどのような場所でどのようなプログラムを実施しているかを把握する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	85	期末試験85%(到達目標項目(1)10%、(2)20%、(3)20%、(4)15%、(5)20%、(6)15%、
レポート課題		
上記以外	15	小テストまたは講義態度15%は各回1%ずつで評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山・宮崎編	化学同人	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養教育論 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	栄養教育論実習							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1400160	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT364								

授業概要

栄養アセスメント論で学んだ対象者の行動変容を促し、対象者の学習を支援できることを目的とした栄養教育の基本的・専門的知識や技術を実際の栄養教育に、いかに活かしていくかをライフステージ、ライフスタイル別に、その特徴や顕在化しやすい栄養問題に応じた栄養教育の実際のあり方を学習する。個人や集団の栄養状態の評価判定でき、栄養プログラムが作成できる。

到達目標

- (1) 栄養教育に必要な知識と技術を説明できる。
- (2) 各ライフステージ・ライフスタイルの特徴にあった栄養教育が出来る。
- (3) 日本における栄養教育の実際を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	各回レポート課題(4%ずつ)
上記以外	40	実習中の取り組みを総合的に評価する。

5分の一以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山・宮崎編	化学同人	
2	栄養教育論実習	片井・川上・久保田編	講談社サイエンティフィック	
3				

初回に必ず持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ヘルス21栄養教育・栄養指導論	大野・辻編	医歯薬出版株式会社	
2				
3				

前提学力等

栄養教育論Iを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	栄養生化学							担当教員	福渡 努
講義コード	1400190	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT121								

授業概要

生命活動を維持するために、細胞内では栄養素を原料としてエネルギーの獲得と利用、生体構成物質や生理活性物質の合成と分解などさまざまな反応が進行している。これらの反応は数千もの化学反応から成り立っており、生化学は栄養学の根幹をなす重要な学問である。これから栄養学を学んでいくうえで、摂取した栄養素が代謝、利用される一連の反応経路に関する基本知識を身に付けることが本講義の狙いである。

到達目標

- (1) 代謝（同化、異化）について概説できる
- (2) エネルギー産生に関する反応経路、その機能、調節機構について説明できる
- (3) 生体構成物質や生理活性物質の合成および分解に関する反応経路、その機能、調節機構について説明できる
- (4) 生化学反応と栄養学との関係について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標 (1) について論述式試験を行う (10%) 到達目標 (2) について論述式試験を行う (20%) 到達目標 (3) について論述式試験を行う (35%)
レポート課題	20	到達目標 (4) について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	15	到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

- ・別途示した予習ポイントを意識して、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第4版	市川厚 監修	化学同人	9784759811902
2				
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

高校で化学および生物が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	栄養生化学実験							担当教員	福渡 努 / 森 紀之
講義コード	1400200	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	実験		
ナンバリング番号	234NUT322								

授業概要

酵素の特性とその反応機構、血中タンパク質の分析を行うことにより、生体内で起きている複雑な代謝経路や調節機構を理解することが本講義にねらいである。併せて、生化学分析に関する原理、生体高分子の体内での変動の実際を理解し、生化学実験に必要な基本的な技術操作を修得する。

到達目標

- (1) 栄養生化学実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験機器・器具の原理を理解し、正しく操作することができる
- (3) 実験原理・測定方法を説明できる
- (4) 栄養生化学実験で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 栄養生化学実験の内容、データに関する疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標 (3) についてレポートで評価する (20%) 到達目標 (4) についてレポートで評価する (20%) 到達目標 (5) についてレポートで評価する (20%)
上記以外	40	到達目標 (1) について、実験ノートおよび手技の観察で評価する (30%) 到達目標 (2) について、手技の観察で評価する (30%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

- ・受講前の予習を必須とする。
- ・当日の操作の手順について、実験ノートに箇条書きでまとめておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	栄養生理学・生化学実験	加藤秀夫ほか編	講談社	9784061553491
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一ほか	化学同人	9784759811377
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

食品基礎実験，基礎栄養学，，栄養生化学，生体の構造と機能を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	栄養生理学実習							担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史
講義コード	1400210	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT346								

授業概要

人体模型の観察やラットの解剖、また、循環・呼吸・尿・感覚に関する実験を通して生体の構造と機能について理解する。顕微鏡による病理組織標本の観察により、疾病の病理病態を理解する。

到達目標

人体模型の観察やラットの解剖を通して、生体の構造について理解できる
 循環・呼吸・尿に関する実験を通して、生体の構造と機能について理解できる
 顕微鏡による病理組織標本の観察により、疾病の病理病態が理解できる
 臨床医学の実践活動に重要な人体の構造と機能について、実験を通して理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	人体模型の観察やラットの解剖を通して、生体の構造について理解できる 循環・呼吸・尿に関する実験を通して、生体の構造と機能について理解できる 顕微鏡による病理組織標本の観察により、疾病の病理病態が理解できる、については、各々の実習につき提出されたレポート(30%、 30%、 30%)で評価する。 臨床医
上記以外	0	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養と健康							担当教員	福渡 努
講義コード	1400220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT312								

授業概要

1～3回生時に学んだ栄養生化学、栄養生理学、分子栄養学、食品機能科学、基礎栄養学、応用栄養学を踏まえ、栄養、食習慣、食行動と健康との関わりを総合的に捉えることが本講義のねらいである。食品中の栄養素が消化、吸収、代謝され、生理作用を発揮するために、様々な制御・調節機構が働いている。本講義では、分子レベル・細胞レベルで栄養素と生体が相互作用することによって情報伝達が始まり、恒常性を維持するためにその情報が臓器さらには生体全体における制御・調節機構に果たす役割を理解する。

到達目標

- (1) 栄養素の消化・吸収・代謝について分子・細胞・組織レベルで説明できる
- (2) 栄養素が関与する情報伝達機構について分子・細胞・組織、生体レベルで説明できる
- (3) 栄養素の恒常性維持に関わる制御・調節機構について分子・細胞・組織・生体レベルで説明できる
- (4) 科学的根拠に基づいて日本人の食事摂取基準を柔軟に活用することができる
- (5) 先制医療に対する栄養学の貢献について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65%	到達目標(1)について、論述式試験を行う (18%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う (18%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う (18%)
レポート課題	20%	到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	15%	到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

やみくもに丸暗記するのではなく、講義内容を構造化、体系化して理解すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	分子栄養学	金本龍平編集	化学同人	4-7598-1214-8
2	日本人の食事摂取基準2015年版		第一出版	978-4-8041-1312-8
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第4版	市川厚 監修	化学同人	9784759811902
2	細胞の分子生物学 第5版	中村桂子ほか監訳	ニュートンプレス	9784315518672
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

前提学力等

基礎栄養学 ・ ，応用栄養学 ・ ，栄養生化学，生体の構造と機能，分子生物学基礎を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	応用栄養学							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400240	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT321								

授業概要

「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。従って、一部の講義項目は「基礎栄養学」から続く。

到達目標

- (1)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を理解する。
(2)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方を設定することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達課題に対し、定期試験で評価する。
レポート課題	50	到達課題に対し、レポートで評価する。
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指定教科書については初回講義時に担当教員が説明する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養生化学、生体の構造と機能，基礎栄養学（ 、 ）を履修していること。

履修資格

講義名	応用栄養学							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400250	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT323								

授業概要

「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。

到達目標

- (1)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を理解できる。
(2)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方を設定することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に対して、定期試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標に対して、小テストで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指定教科書については初回講義時に担当教員が説明する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養学の基礎知識があること。
基礎栄養学()、応用栄養学 を履修していること。

履修資格

講義名	応用栄養学							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400255	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。

到達目標

- (1)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を理解できる。
(2)対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方を設定することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に対して、定期試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標に対して、小テストで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指定教科書については初回講義時に担当教員が説明する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養学の基礎知識があること。
基礎栄養学()、応用栄養学 を履修していること。

履修資格

講義名	応用栄養学実習							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400260	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT345								

授業概要

生涯を心身ともに健康で過ごしていくためには、各ライフステージ・スタイルの特性に応じた栄養管理が必要である。本実習では乳児期から高齢期に至るヒトの身体状況の変化や活動の変化等に対応した栄養ケアの実際について学ぶ。科学的根拠に基づき、栄養アセスメントを行い、問題点を抽出し、対象者の特性にあった目標を立てる能力を身に付ける。

到達目標

- (1) 発育・健康維持に適した栄養補給法と補給栄養素を定めて、栄養状態の評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。
- (2) 高齢者の栄養評価を実施し、QOL向上を目指した栄養評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。
- (3) 成人期の生活習慣、食生活に対応した栄養評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標について、各ライフステージにおける課題レポートで評価する。
上記以外	40	到達目標の課題に対してのプレゼンテーションで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
出席点率、実習中の姿勢・態度、レポートで評価する。
授業時間数の3分の1以上を欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用栄養学ワークブック	山本由喜子	みらい	
2	食事摂取基準2015年版		第一出版	
3	食品成分表2015年版		全国官報販売協同組合	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

応用栄養学I、応用栄養学II、嗜好と調理実習I、嗜好と調理実習IIを履修していること。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（生活栄養）						担当教員	学科教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 小澤 恵子 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1400350	単位数	1	開講期	通年	授業種別			実習
ナンバリング番号	134NUT101								

授業概要

この実習は、琵琶湖を中心とした滋賀の食文化について理解することを目的とする。食文化に纏わる幾つかのテーマを設定し、少人数のグループで食材や調理法についての調査を行う。各グループごとに調査結果の発表を行った後に、それぞれの関連施設を訪問し滋賀県の食文化についての理解を深める

到達目標

滋賀県の食文化をテーマに、自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	各班ごとにレポートを作成し担当教員が評価する。
上記以外	50	調査結果に基づくプレゼンテーション内容および質疑応答で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（生活栄養）							担当教員	学科教員／今井 絵理／遠藤 弘史／ 奥村 万寿美／小澤 恵子／佐野 光枝／ 中井 直也／東田 一彦／廣瀬 潤子／ 福渡 努／森 紀之／矢野 仁康
講義コード	1400350	単位数	1	開講期	通年	授業種別	実習		
ナンバリング番号	134NUT101								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	滋賀県の食文化について	少人数（6～7人）の班に分かれ、各班ごとに滋賀県の食文化をテーマとしてその食材や調理・製造方法についての調査を行う
第2回	滋賀県の食文化について	同上
第3回	滋賀県の食文化について	同上
第4回	滋賀県の食文化について	同上
第5回	滋賀県の食文化について	同上
第6回	滋賀県の食文化について	同上
第7回	滋賀県の食文化について	同上
第8回	滋賀県の食文化について	同上
第9回	滋賀県の食文化について	同上
第10回	滋賀県の食文化について	同上
第11回	滋賀県の食文化について	同上
第12回	滋賀県の食文化について	同上
第13回	滋賀県の食文化について	同上
第14回	滋賀県の食文化について	同上
第15回	滋賀県の食文化について	調査結果について各班ごとにプレゼンテーションを行う
第16回	滋賀県の食文化について	実際に調査を行った食文化に纏わる施設を訪問し滋賀県の食文化についての理解を深める
第17回	滋賀県の食文化について	同上
第18回	滋賀県の食文化について	同上
第19回	滋賀県の食文化について	同上
第20回	滋賀県の食文化について	同上
第21回	滋賀県の食文化について	同上
第22回	滋賀県の食文化について	同上
第23回	滋賀県の食文化について	同上
第24回	滋賀県の食文化について	同上
第25回	滋賀県の食文化について	同上
第26回	滋賀県の食文化について	同上
第27回	滋賀県の食文化について	同上
第28回	滋賀県の食文化について	同上
第29回	滋賀県の食文化について	同上
第30回	滋賀県の食文化について	同上

担当者から一言

講義名	管理栄養士総合演習							担当教員	矢野 仁康 / 今井 絵理 / 奥村 万寿美 / 小澤 恵子 / 佐野 光枝 / 廣瀬 潤子
講義コード	1400380	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	434NUT491								

授業概要

これまでに習得してきた管理栄養士に必須な科目の内容をもう一度確認し、これらの知識の定着を図るとともに、これらを有機的に結びつけて理解し、管理栄養士としての応用実践力を習得する。

到達目標

- (1) 各分野・領域に関する重要事項について関心と意欲を持ち、その知識を包括的に応用することができる
- (2) 領域を超えた専門知識と技術を関連づけ活用できる
- (3) 管理栄養士業務で発生する様々な問題を発見し、それに修正・改善することができる
- (4) 管理栄養士として必要な専門的、実践的な自己課題を習得した知識・技術を活用し、解決することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)～(4)について、授業内容の理解度の確認として全範囲を対象とした試験を行う

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。
日程調整に伴い、授業計画の一部を変更することがある。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：適宜指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎栄養学							担当教員	福渡 努
講義コード	1400400	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT221								

授業概要

食事から摂取した栄養素が消化、吸収、組織へ運搬、代謝され、生理作用を発揮し、分解、排泄されるまでの運命とその調節機構に関する学問分野が基礎栄養学である。したがって、基礎栄養学はあらゆる栄養学の根幹をなす。本講義のねらいは、基礎栄養学の導入部として、栄養素の種類、代謝、生理的意義、体内動態の概要について学び、理解することである。

到達目標

- (1) 各栄養素の種類、特徴、機能について説明できる
- (2) 各栄養素の代謝の概要を説明できる
- (3) 各栄養素の消化・吸収、体内動態について説明できる
- (4) 基礎栄養学と健康との関わりについて自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標 (1) について論述式試験を行う (20%) 到達目標 (2) について論述式試験を行う (25%) 到達目標 (3) について論述式試験を行う (20%)
レポート課題	20	到達目標 (4) について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	15	到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

- ・別途示した予習ポイントを意識して、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	基礎栄養学 改訂第5版	柴田克己ほか編	南江堂	9784524258253
2	日本人の食事摂取基準2015年版		第一出版	9784804113128
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第4版	市川厚 監修	化学同人	9784759811902
2	細胞の分子生物学 第5版	中村桂子ほか監訳	ニュートンプレス	9784315518672
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

栄養生化学、分子生物学基礎、食品学総論を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	基礎栄養学							担当教員	福渡 努
講義コード	1400410	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT222								

授業概要

食事から摂取した栄養素が消化、吸収、組織へ運搬、代謝され、生理作用を発揮し、分解、排泄されるまでの運命とその調節機構に関する学問分野が基礎栄養学である。したがって、基礎栄養学はあらゆる栄養学の根幹をなす。本講義のねらいは、基礎栄養学の展開部として、各栄養素の代謝とその調節機構の詳細を学び、理解することである。

到達目標

- (1) 各栄養素の代謝の詳細について説明できる
- (2) 各栄養素の代謝調節機構について説明できる
- (3) 各栄養素の望ましい摂取量についてその根拠を説明できる
- (4) 基礎栄養学と健康との関わりについて自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標 (1) について論述式試験を行う (25%) 到達目標 (2) について論述式試験を行う (20%) 到達目標 (3) について論述式試験を行う (20%)
レポート課題	20	到達目標 (4) について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	15	到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

- ・別途示した予習ポイントを意識して、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	基礎栄養学 改訂5版	柴田克己ほか編	南江堂	9784524258253
2	日本人の食事摂取基準2015年版		第一出版	9784804113128
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第4版	市川厚 監修	化学同人	9784759811902
2	細胞の分子生物学 第5版	中村桂子ほか監訳	ニュートンプレス	9784315518672
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

基礎栄養学、栄養生化学、生体の構造と機能、分子生物学基礎、食品学総論を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	基礎栄養学実験							担当教員	福渡 努 / 未定 *
講義コード	1400420	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	実験		
ナンバリング番号	334NUT325								

授業概要

栄養状態を反映する尿中の生体指標を分析し、食事調査結果による栄養素等摂取量と比較することにより、生体指標を用いた栄養評価の考え方を理解することが本講義のねらいである。併せて、生体指標の分析に関する原理、栄養素代謝の実際を理解し、基礎栄養学実験に必要な基本的な技術操作を修得する。

到達目標

- (1) 基礎栄養学実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験機器・器具の原理を理解し、正しく操作することができる
- (3) 実験原理・測定方法を説明できる
- (4) 基礎栄養学実験で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 基礎栄養学実験の内容、データに関する疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標 (3) についてレポートで評価する (20%) 到達目標 (4) についてレポートで評価する (20%) 到達目標 (5) についてレポートで評価する (20%)
上記以外	40	到達目標 (1) について、実験ノートおよび手技の観察で評価する (30%) 到達目標 (2) について、手技の観察で評価する (30%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

- ・受講前の予習を必須とする。
- ・当日の操作の手順について、実験ノートに箇条書きでまとめておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	栄養生理学・生化学実験	加藤秀夫ほか編	講談社	9784061553491
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一ほか	化学同人	9784759811377
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

食品基礎実験、食品機能科学実験、栄養生化学実験、基礎栄養学、栄養生化学、生体の構造と機能を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	給食衛生管理実習							担当教員	小澤 恵子
講義コード	1400450	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT375								

授業概要

学校給食をはじめとする大量調理施設や食品関連企業では、食中毒が最重要の危機管理項目であり、HACCPシステムを取り入れた新たな衛生管理システムが構築されている。各種施設においては、安全衛生マネジメントのできる管理栄養士・栄養士の養成が必要とされている。そこで、(1)食品調理・加工における衛生管理(2)調理環境における衛生と管理(3)大量調理施設管理マニュアルに基づく衛生管理の実際について、実習を通して理解を深め、技術を習得する。

到達目標

- (1) 「大量調理施設衛生管理マニュアル」の全般が理解できる。
- (2) 衛生管理の実際として具体的実施方法を習得し、調理従事者への衛生教育ができる。
- (3) HACCPシステム構築のための危害分析と危害リストを作成することができる。
- (4) 危機管理として、インシデント及びアクシデントレポートの作成。食中毒発生時の対応が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)～(4)について、課題レポートで評価 (1)25%、(2)25%、(3)25%、(4)25%
上記以外		

3回以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	管理栄養士のための大量調理施設の衛生管理	矢野俊博 岸本満	幸書房	978-4-7821-0337-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	4訂大量調理施設衛生管理のポイント	全国食品衛生主管課長連絡協議会編	中央法規出版	978-4-8058-3440-4
2				
3				

適宜プリント配布

前提学力等

履修資格

講義名	給食経営管理実習							担当教員	小澤 恵子
講義コード	1400461	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT374								

授業概要

特定多数人数を対象とした給食施設での大量調理は、給食施設の食事計画に基づいて作成された献立を、施設の限られた調理条件のなかで調理し、衛生的に安全で、しかもおいしく、食事として満足できる料理を提供することが求められる。そのためには、栄養士に対し、時間や設備、調理担当者などの資源を効率よく使い、一定の品質のものを安定的に作り上げるように管理・統制していくという役割が課せられる。100人を対象にした食事を提供する学内での給食管理実習では、これまでに学んできた知識と技術を活用して、栄養士に必要とされる企画・運営・管理能力を養うことを目的とする。

到達目標

- (1) 管理栄養士、調理師の役割分担が理解できること。
- (2) 下処理から始まり、調理、配食、食器洗浄、保管までの作業分担が出来ること。
- (3) 大量調理に必要な書類が作成できること。
- (4) 食材料費の執行が予算内にできること。
- (5) HACCPに基づく衛生管理が理解できること。
- (6) 目標設定に対する評価ができること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標についてレポートで評価する。 (1) 10% (2) 10% (3) 20% (4) 20% (5) 20% (6) 20%
上記以外		

5分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	給食経営管理実習ワークブック第3版	藤原政嘉 田中俊治 赤尾正編	みらい	978-4-86015-343-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	学内給食経営管理実習のためのおいしい食事のコーディネーター第2版	木村友子 井上明美	医歯薬出版株式会社	978-4-263-70414-1
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	給食経営管理臨地実習							担当教員	小澤 恵子
講義コード	1400470	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT384								

授業概要

学外（特定給食施設：病院、福祉施設、学校など）にて給食施設の管理運営の実態に臨み、適切な管理を行うために、いかなる専門的知識および技術が総合的に関わっているかを習得する。（学外の給食施設において、授業計画第1回から第15回に計画された内容を実施する。）

到達目標

- (1) 多職種とコミュニケーションをうまく図ることが出来る。
- (2) 衛生管理の実際が理解できる。
- (3) 事務管理の実際が理解できる。
- (4) 栄養指導・栄養教育の仕組みが理解できる。
- (5) 実習施設の献立作成の仕組みが理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標(1)～(5)までについて、毎回提出の報告書(50%)、レポート(50%)で評価する。
上記以外		

欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨地・校外実習のてびき第2版	木戸詔子 福井富穂	科学同人	978-4-7598-1195-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

給食経営管理論、給食経営管理実習、給食衛生管理実習を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	給食経営管理論							担当教員	小澤 恵子
講義コード	1400480	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT372								

授業概要

特定多数の人々の健康状態・栄養状態維持、改善、さらに向上させるためには、栄養・食事管理を効率的に、かつ効果的に継続し実施していくことが重要である。給食の意義及び給食経営管理の概要、利用者の身体状況、栄養状態、生活習慣などのアセスメントから、計画、実施、評価、改善までの栄養・食事管理、さらに給食の運営方法とそのマネジメントについて学ぶことにより、給食運営や関連の資源（食品流通や食品開発の状況、給食に関わる組織や経費等）を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う。

到達目標

- (1) 特定給食施設における給食の意義・役割を理解することが出来る。
- (2) 給食経営管理におけるマーケティングの意義、目的、方法を理解することが出来る。
- (3) 給食施設における利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理を行うことが出来る。
- (4) 給食施設におけるHACCPシステムに基づいた安全・衛生管理の意義と実際を理解することが出来る。
- (5) 給食施設における危機管理の意義・必要性を理解することが出来る。
- (6) 各施設における給食経営管理と関連法規について理解することが出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・実践 給食経営管理論第2版 栄養・安全・経済面のマネジメント	藤原政嘉 田中俊治 赤尾正	みらい	978-4-86015-188-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜プリントを配布します

前提学力等

履修資格

講義名	健康情報管理実習							担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1400620	単位数	1	開講期	後期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	134NUT211								

授業概要

情報化社会に適応できる能力を身に付ける。すなわち、栄養食品および消費生活に関する情報を提供する情報媒体について学び、さらに健康情報や栄養補助食品および消費などに関する情報の入手し、これらの情報をプレゼンテーションソフトのPowerPointなどを利用して、表示する手法などを習得する。さらに、健康に関するデータの統計処理の手法についても学ぶ。

到達目標

健康情報を検索し、健康情報を統計処理し、プレゼンテーションソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた健康情報によりレポートを提出。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	健康情報に関する課題とPowerPointによるプレゼンテーションの作成により評価、
上記以外	40%	健康情報と食品情報の検索によりレポート作成

課題とレポートの提出

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント等を配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	健康心理学							担当教員	粟谷 初子
講義コード	1400630	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT344								

授業概要

近年の健康への関心の高まりには目を見張るものがあり、人の健康について、社会や環境とのかかわりの中で全人的な把握と対応が迫られている。このような時に健康心理学が貢献できることを考えるのが目標である。まず、総論として、健康の概念を明らかにし、次に、健康とストレス、健康の保持・増進とサポートシステム、そして実践・臨床の視点から、健康アセスメントやカウンセリング、疾病、健康教育といった予防や対処、治療などについて学ぶ。また、心理検査やアンケートを実施し、健康を体験的に捉える。そして、学習したことについての考えや感想を書くことによって主体的に取り組む姿勢を育てる。

到達目標

人が健康に生きるということはどういうことかを理解し、その実践的・臨床的意味を考えること。

- (1) 心理面の健康の概念が理解できる。
- (2) 人の健康行動と実際が理解できる。
- (3) 人の健康管理に役立てることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標(1)(2)について、論述式試験を行う。
レポート課題	20%	到達目標の各項目について、理解の内容を確認するためと、自らの考えを問うために小テストを実施し、レポート課題も課す。
上記以外	10%	到達目標の各項目について、理解を深めるために毎回ミニレポートを課す。

授業時間数の5回以上欠席したものは評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	健康心理学	野口京子	金子書房	
2	健康心理学・入門	島井哲志他	有斐閣アルマ	
3	健康心理学概論	日本健康心理学会編	実務教育出版	

教科書は指定しないが、適宜プリントを配布し、必要に応じてDVDも使用する。

前提学力等

受講には、人に対する真摯で誠実な姿勢と興味、問題意識、そして、探究心が必要である。

履修資格

講義名	公衆衛生学							担当教員	未定*
講義コード	1400790	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212								

授業概要

公衆衛生とは、コミュニティの組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進を図る科学・技術である。このような公衆衛生活動の一端を担う管理栄養士にとって、公衆衛生的な考え方、特に公衆衛生の基本となる疫学的な考え方を理解することは必要不可欠である。この講義では、公衆衛生学および疫学における考え方の基礎を学ぶ。

到達目標

- (1) 個々人でなく、人間の集団として対象を捉えることができる。
- (2) 社会の変化と人間の健康との関連を説明できる。
- (3) 環境が人間の健康に及ぼす影響を理解し説明できる。
- (4) 健康の保持増進に対して、食生活・食習慣の重要性を理解できる。
- (5) 食物を通じて健康障害について、原因・対策・結果等について論評することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	
上記以外	20	講義の進捗に応じてレポートと小テストを適宜課す。

講義時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆栄養学							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400800	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT313								

授業概要

地球レベルにおける生態系と食糧問題をの関係を理解したうえで、生態系保全、ヘルスプロモーション、健康増進、疾病予防などを目的とした公衆栄養活動を学ぶ。そのために必要な健康・栄養問題の現状（社会環境、健康状態、食事、食生活、食環境、諸外国の栄養問題）と課題に関する動向を知り、それらに対応した栄養施策を理解する。

到達目標

- (1)地球レベルの健康栄養問題とその解決のための公衆栄養活動が説明できる。
- (2)わが国の少子高齢化、長寿社会に対応した健康増進の公衆栄養活動の重要性を理解できる。
- (3)個人の食事や食行動・食知識・食スキルの在り方を変容させる方法を身につける。
- (4)食品の生産・流通、食料自給率などの食環境を理解できる。
- (5)諸外国の食糧・健康における地域間格差を理解できる。
- (6)公衆栄養活動の組織づくり、人材育成の重要性を理解できる。
- (7)管理栄養士・栄養士の制度の沿革、社会的役割を理解できる。
- (8)国民健康・調査調査の沿革、目的、内容、方法を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標について、定期試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標について、小テストで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆栄養学（第5版）	古野純典	南江堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆栄養学実習							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400810	単位数	1	開講期	後期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT315								

授業概要

人間集団の健康の保持増進のための実践活動の技術の習得と健康管理能力の向上を目指して、栄養指導業務を理解し、実践を通して個人および集団の食生活と栄養状態を把握し、健康づくりに必要な公衆栄養活動のあり方を学ぶ。

到達目標

- (1) 集団の食事摂取量データを用いて、基本統計量、分布を用いた評価、平均値の差の検定、相関係数、危険度などの算出方法を理解し、その結果の解釈について説明することができる。
- (2) 公衆栄養アセスメントとして、地域の人口の構造と変化の資料、平均寿命や死亡率のデータを収集し、アセスメント結果を説明できる。
- (3) 公衆栄養アセスメントの結果をふまえ、優先課題を整理し、数値目標を設定し、実施するための計画書を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標について、各回の課題に対して、電子ファイルデータおよびレポート内容で評価する。
上記以外	40	到達目標の課題に対してのプレゼンテーションで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
出席点率、実習中の姿勢・態度、レポートで評価する。
授業時間数の3分の1以上を欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆栄養学ワークブック	徳留裕子	みらい	
2	食事摂取基準2015年版		第一出版	
3	食品成分表2015年版		全国官報販売協同組合	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	嗜好と調理実習							担当教員	谷口 美津子
講義コード	1400950	単位数	1	開講期	後期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	134NUT233								

授業概要

食材を衛生的かつ安全に、栄養素等の損失を少なく、無駄なく美味しく調理し、楽しい食卓を演出するにはどうすればよいかを実習を通じて学習する。また、毎回実習したものが「一食の献立」として栄養的にバランスよくなるにはどうしたらよいかを考える。調理学のみならず、他の専門科目で学習したことが活かせるような実習を行う。

到達目標

基本的な調理技術を確実に習得し能率のよい調理操作ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	調理遂行能力(調理前準備・片付け・調理工程の手際・衛生管理・盛り付けを含む完成品の出来栄・失敗のリカバリ能力・アイデア等)40%、課題献立評価20%、調理操作・献立作成の理解40%

授業時間数の5分の1以上欠席した者は評価対象にしない

授業外学習

課題献立作成

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	調理の基礎とサイエンス	松崎・藤井・寺本編	学際企画	
2	献立作成の基本と実践	藤原・河原編	講談社サイエンティフィク	
3	日本食品成分表2015年版本表編	医歯薬出版編	医歯薬出版株式会社	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	嗜好と調理実習							担当教員	小澤 恵子 / 廣瀬 潤子
講義コード	1400960	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	234NUT235								

授業概要

料理することは食品を安全でおいしく食べるために人が得た技術である。栄養的でしかも喫食者の嗜好に合った料理を提供することは重要なことである。また、提供の方法（食卓構成）や食事のマナーも食事を豊かなものにするために欠かせない要素である。本実習では調理操作による食品の変化を観察し、科学的根拠を理解する。また、日本料理・西洋料理・中華料理などの食卓構成とマナーを理解し実践につなげる。食事設計を理解し、対象者にあった献立作成の基本を習得し、実践する。

到達目標

- (1) 調理にともなう現象を食品の理化学的な変化として捕らえ理解することができる。
- (2) 献立作成時の調理構成を考え、実習した種々の調理を応用し新しい献立が作成できる。
- (3) 基本的な知識・技術を理解し、盛り付け、色彩調和などを含めた総合的な食事の提供ができる。
- (4) 食卓構成やマナーを理解し実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	各回レポートで評価する。 (1) 25%、(2) 15%、(3) 15%、(4) 5%
上記以外	40	実習への取り組み状況により評価する(40%)

5分の1以上欠席した場合は、評価対象としない。
調理室使用のルール（使用規則および服装・清潔）に従わない場合は実習に参加できないので注意すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	献立作成の基本と実践	藤原・河原編	講談社	978-4061553781
2	食事設計と栄養のための調理科学実験	奥田・畑江・吉岡編	光生館	978-4-332-05035-3
3	日本食品成分表2015年版	医歯薬出版編	医歯薬出版株式会社	

初回授業時に持参すること（実験レポート用紙つきのため）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	調理と理論	山崎清子ら	同文書院	
2				
3				

授業中にプリントも配布する

前提学力等

履修資格

講義名	疾病と栄養							担当教員	矢野 仁康
講義コード	1400990	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT343								

授業概要

病態評価のための診察の仕方、症候のみかた、臨床検査のみかた、疾患治療の概要などを理解する。各種疾患の発症後の病状の進展、増悪、合併症の併発の過程を学び、各々における重症度判定、病期分類の基本と考え方、それらに基づいた薬物治療、外科療法、食事療法、運動療法の理論と実践について講義する

到達目標

栄養と代謝（糖質・脂質代謝とその異常）について理解できる 栄養と代謝（蛋白質・核酸代謝とその異常）について理解できる 栄養障害（肥満とやせ、蛋白質・エネルギー障害、ビタミン・ミネラル異常症）について理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病と栄養について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示す、栄養と代謝（糖質・脂質代謝とその異常）について理解できる 栄養と代謝（蛋白質・核酸代謝とその異常）について理解できる 栄養障害（肥満とやせ、蛋白質・エネルギー障害、ビタミン・ミネラル異常症）について理解できる、臨床医学の実践活動に重要な、疾病と栄養について十分な知識を得る事が出来る、に
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床栄養学	佐藤和人 他	医歯薬出版	ISBN978-4-263-70572-8
2	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	香川靖雄 他	南江堂	ISBN978-4-524-26029-4
3	臨床病態学	伊藤節子	化学同人	ISBN4-7598-1207-5

上記3つの教科書の中から一つを選び準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	疾病の成り立ち							担当教員	矢野 仁康
講義コード	1401000	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT244								

授業概要

疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる

到達目標

疾患に伴う細胞、組織の変化について理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の成因・病態の概要を理解できる
 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の成因・病態の概要を理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示す、疾患に伴う細胞、組織の変化について理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の成因・病態の概要を理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる、 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床栄養学	佐藤和夫 他	医歯薬出版	ISBN978-4-263-70572-8
2	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	香川靖雄 他	南江堂	ISBN978-4-524-26029-4
3	臨床病態学	伊藤節子	化学同人	ISBN4-7598-1207-5

上記3つの教科書から一つを選び準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	社会福祉概論							担当教員	頼尊 恒信
講義コード	1401170	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT213								

授業概要

本講義は、高齢者、障害者、児童などの福祉に関する個別のトピックをとりあげながら、社会福祉の歴史、現状、課題について考察する。とりわけ、本講義では、社会福祉の理念や意義、社会福祉の法体系や制度、サービス等を中心に、社会福祉の基礎を学ぶ。

到達目標

1) 現代の社会福祉における福祉の対象と、それらをとるべく社会福祉の法制度が、いかなるものであるのかを理解する。2) ニュースや新聞等、身近な社会福祉のトピックに興味をもち、本講義で学んだことを活かしながら現代の社会福祉のあり方について論じることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末試験(論述問題)
レポート課題		
上記以外	30	毎授業提出のレスポンス・ペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義資料については、授業時に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	三訂社会福祉概論	宇山勝儀・森長秀	光生館	ISBN 978-4-332-60096-1
2	新・社会福祉とは何か 第2版	大久保秀子	中央法規	ISBN 978-4-8058-3967-6
3				

前提学力等

履修資格

講義名	消費生活論						担当教員	小牧 美江	
講義コード	1401380	単位数	2	開講期	後期	授業種別			講義
ナンバリング番号	133MKD182, 134NUT214, 135LAH207								

授業概要

私たちは、生活に必要な商品(物・サービス)を購入し、消費することで生活を営んでいる「消費者」である。消費生活論は、私たちの生活のあらゆる場面で消費者が行う消費の側面から分析し、その成果をもとに、より良い消費行動を通じて経済活動を活性化し、消費者被害・消費者問題の発生を防止、消費者被害救済のシステムを改善するなど、私たちの生活の改善や社会の改善につなげていく学問である。

本講義では、消費生活を分析する視点として、「法」と「人権」に着目する。「消費」を「契約」(法律行為)という法の視点から分析し直し、そこに登場する「消費者」「事業者」の権利と責任、関係性、消費者トラブルの実情と原因、消費者法・消費者行政が果たす役割、消費者の人権について考えていく。

消費者が、社会問題、倫理、世界情勢、将来世代の状況等、様々な社会状況や課題を考慮して消費行動を選択することで事業者や政府に対して能動的に働きかけを行うことを通じて、消費者自身の権利を守り、公正な事業活動を促進し、その結果として構築される公正で持続可能な社会を「消費者市民社会」という。本講義では、この消費者市民社会の実現をめざす「消費者市民」とはどのような消費者なのかについても、消費者の権利と責任をキーワードとして考え、自らも「消費者市民」としての行動ができるようになることをめざす。また、「消費者市民を育てる消費者教育」のあり方についても考えていく。

講義形式を中心とするが、適宜、グループ討論やプレゼンテーションなどの演習も取り入れる。

到達目標

- (1)消費生活をさまざまな角度から分析するための基礎となる知識を学び、自分の言葉で説明することができるようになる。
- (2)消費者である自分自身の消費生活に関する課題に気づき、その課題解決に必要な情報を収集・分析し、課題を解決しようとする態度を身につけることができる。
- (3)消費者の権利と責任、消費者市民社会について理解し、消費者市民としての行動ができるようになる。
- (4)消費者教育が様々な年齢層・場面等に応じて行われることを学び、自分が消費者教育に関わることができる場面と方法を見つけることができるようになる。
- (5)消費生活をさまざまな側面から分析することを学び、自分が専門に研究を深めたいと考えている分野の学問と消費生活との接点を見つけることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(1)(4)(5)については、レポート試験を課す。50点満点とし、課題を理解し説明できているか(25点)、自分の学習成果を盛り込み見解を述べているか(15点)、レポート全体が文章として完成しているか(10点)の3基準で採点する。
上記以外	50	到達目標(2)(3)については、授業中に提示する小レポートの成果(20点満点)と、課題レポートについての課題発表会での発表(プレゼンテーション)の成果と発表方法(30点満点)を採点する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業外においても、消費者庁、国民生活センター、適格消費者団体等のウェブサイトで公開されている消費者被害情報など、消費者に関する情報や報道に注目し、自身の消費者としての日常生活における行動を点検する姿勢を身に付けてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい消費者教育 - これからの消費生活を考える	神山久美・中村年春・細川幸一編著 / 日本消費者教育学会関東支部	慶應義塾大学出版会	9784766423075
2	ハンドブック消費者2014	消費者庁	全国官報販売協同組合	9784864580595 (9784864580596)
3				

授業中に配付するレジュメ・資料と共に用いる。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	18歳から考える消費者と法・第2版	坂東俊矢・細川幸一	法律文化社	9784589036124
2	ジェンダーで学ぶ生活経済論・第2版	伊藤純・斎藤悦子	ミネルヴァ書房	9784623073542
3	消費者政策 - 消費生活論・第5版	鈴木深雪	尚学社	9784860310806

この他、授業中に参考図書を通覧紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	食品衛生学							担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401400	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT271								

授業概要

食品に求められる最も重要な条件は安全性である。食品の生産から加工、流通、貯蔵、調理を経て人に摂取されるまでのあらゆる段階において、食品は変質する可能性、有害物質や有害生物に汚染される可能性をもつ。衛生上の危害の発生要因として、食品の変質、食中毒、食品による感染症、食品中の汚染物質について理解することが本講義のねらいである。また、食品添加物や残留農薬を題材として、食品の安全性確保と安全性評価について解説する。以上の正しい科学的知識の習得に加え、リスクアナリシスの理論など食品の安全性の考え方、衛生管理の考え方についても解説する。

到達目標

- (1) 食品衛生に関するリスクアナリシス、法規を説明できる
- (2) 食中毒の種類、原因、汚染源、予防法を説明できる
- (3) 食品中汚染物質の種類、原因、汚染源、予防法を説明できる
- (4) 食品添加物の安全性、分類、用途を説明できる
- (5) 食品衛生、食品の安全性確保について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標(1)について、論述式試験を行う(15%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う(20%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う(20%)
レポート課題	30%	到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 食品衛生学 第2版	西島基弘・山本茂貴(編)	建帛社	978-4-7679-0589-1
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学総論、食品機能科学を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品衛生学実験							担当教員	佐野 光枝 / 森 紀之
講義コード	1401410	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	実験		
ナンバリング番号	334NUT376								

授業概要

食品衛生に関する分析を行うことにより、食品の安全性に関わる試験・検査法の基本原理や方法の概要について理解を深め、食品の安全性確保の重要性を学ぶことが、本講義のねらいである。本講義では、生菌数検査、大腸菌群の検査といった衛生微生物試験、着色料や保存料を定性、定量する食品添加物試験、食品の変質を調べる安全性試験を実施する。

到達目標

- (1) 食品衛生学実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験器具を正しく操作することができる
- (3) 実験原理、測定方法を説明できる
- (4) 分析で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 分析を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	60%	到達目標(3)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(4)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(5)について、レポートで評価する(20%)
上記以外	40%	到達目標(1)について、実験ノートおよび手技の観察で評価する(30%) 到達目標(2)について、手技の観察で評価する(10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品安全・衛生学実験	岡崎眞・大澤朗・川添禎浩(編)	講談社サイエンティフィク	978-4-06-155347-7
2				
3				

プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学衛生学を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品学総論							担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401420	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT131								

授業概要

食品がもつ最も重要な機能は、生命活動の維持および健康の維持に必要な栄養素を供給することである。このことを踏まえ、食品成分（栄養素、嗜好性成分、機能性成分等）の種類、構造、性質に関する基礎知識を習得することが、本講義のねらいである。また、調理・加工による食品成分の変化について扱うとともに、日本食品標準成分表の利用に関する理解を深めるための講義も行う。

到達目標

- (1) 栄養素の種類を分類できる
- (2) 食品機能について説明できる
- (3) 各食品成分の種類、構造、性質、変化、生理機能を説明できる
- (4) 食品成分表の利用について説明できる
- (5) 食品機能と健康との関連について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	到達目標(1)～(4)について、論述式試験を行う
レポート課題	20%	到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品学総論	森田潤司・成田宏史	化学同人	978-4-7598-1640-2
2	日本食品標準成分表2015年版(七訂)	文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告	全国官報販売協同組合	978-4-86458-118-9
3	日本人の食事摂取基準(2015年版)	佐々木敏・菱田明(監修)	第一出版	978-4-8041-1312-8

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校で化学および生物が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品加工実習							担当教員	福渡 努 / 佐野 光枝 / 森 紀之
講義コード	1401430	単位数	1	開講期	後期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT332-C								

授業概要

加工食品の製造を通じて、食品の加工および保蔵の科学的原理を学ぶことにより、食品加工および衛生管理の意義・目的を実践的に理解する。また、大規模製造工場での講義および見学を通じて、食品工業における食品製造の意義・目的を理解する。

到達目標

- (1) 実習を準備し、遂行できる
- (2) 食品加工・保蔵および衛生管理の原理と方法を説明できる
- (3) 食品加工にともなう食品成分の変化を説明できる
- (4) 実習を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる
- (5) 食品工業における食品製造の意義・目的を説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標で示す (1) 実習を準備し、遂行できる、については、実習ノート (20%) および手技の観察 (20%) で評価する。(2) 食品加工・保蔵および衛生管理の原理と方法を説明できる、(3) 食品加工にともなう食品成分の変化を説明できる、(4) 実習を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる、(5) 食品工業における食品製造の意義・目的を説明できる

日程調整に伴い、授業計画の一部を変更することがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	食品加工学実験書	森孝夫	化学同人	978-4759809299
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学総論、食品機能科学、食品の調理と加工、食品衛生学が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品基礎実験							担当教員	中井 直也 / 遠藤 弘史 / 東田 一彦
講義コード	1401440	単位数	1	開講期	後期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	134NUT232								

授業概要

実験の心得を十分に熟知した後、実験の目的および食品の分析・解析を行うための分析原理・技術を正しく理解し、基礎的な実験操作を習得する。食品の主成分の定性定量分析を行い、食品の持つ物理的・化学的性質を具体的に認識する。

到達目標

実験の安全な遂行、実験の予習と準備、実験原理の理解、実験に必要な注意事項の理解、適切な実験ノートへの記録、実験器具の正しい操作、適切なレポートの作成、の全てが行えるようになること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標に関して、実験準備 25%、実験遂行能力 25%、レポート 50% で評価する。

授業時間数の 3 分の 1 以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食品機能科学							担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401450	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT231								

授業概要

日本人の食事摂取基準に基づいた栄養マネジメントを実施するためには、栄養素レベルを食品レベル、料理レベルに置き換える能力、各料理区分の栄養成分の特徴を踏まえて料理から栄養素摂取量を推定する能力が必須となる。このことを踏まえ、食品素材ごとに構成成分の特徴および調理・加工による変化について理解することが本講義のねらいである。

到達目標

- (1) 食品素材の種類を分類できる
- (2) 各食品素材の構成成分について、構造、特性、利用、機能、変化を説明できる
- (3) 食品表示について説明できる
- (4) 各栄養素の供給源となる食品素材について説明できる
- (5) 食品素材と健康との関連について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1)について、論述式試験を行う(15%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う(15%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う(15%)
レポート課題	40%	到達目標(4)について、食事調査結果の解析に関するレポート課題を課す。 到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品学各論 第2版	小西洋太郎・辻英明(編)	講談社サイエンティフィク	978-4-06-155341-5
2	日本食品標準成分表2015年版(七訂)	文部科学省科学技術・学術審議会 資源調査分科会報告	全国官報販売協同組合	978-4-86458-118-9
3	日本人の食事摂取基準(2015年版)	佐々木敏・菱田明(監修)	第一出版	978-4804113128

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学総論が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品機能科学実験							担当教員	佐野 光枝 / 森 紀之
講義コード	1401460	単位数	1	開講期	後期後半	授業種別	実験		
ナンバリング番号	234NUT331								

授業概要

食品の一般成分分析を行うことにより、食品成分に関する理解を深め、日本食品標準成分表に示される数値の意味を理解することが、本講義のねらいである。併せて、食品成分の定量分析に関する原理を理解し、基本的な実験技術を習得する。本講義では、食品試料を用いて水分、たんぱく質、脂質、灰分、ビタミン、ミネラルの測定分析を行い、エネルギー、炭水化物の含量も算出する。

到達目標

- (1) 食品分析実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験器具を正しく操作することができる
- (3) 実験原理、測定方法を説明できる
- (4) 食品分析実験で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 食品分析実験を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	60%	到達目標(3)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(4)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(5)について、レポートで評価する(20%)
上記以外	40%	到達目標(1)について、実験ノートおよび手技の観察で評価する(30%) 到達目標(2)について、手技の観察で評価する(10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品学実験	橋本俊二郎(編)	講談社	978-4061398290
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一 ほか	化学同人	978-4759811377
3				

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/150914_tuchi4-betu2.pdf をダウンロードしておくこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学総論、食品機能科学、食品基礎実験を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品の調理と加工							担当教員	小川 正
講義コード	1401470	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT234								

授業概要

人は食品から栄養素を体内に取り入れることで生命を維持している。個々の食品の素材から栄養素を安全に美味しく、かつ効率よく吸収できるように摂取するためには工夫がいる。人はそのための一連の操作・技術を確立してきた。これらを調理あるいは加工と呼んでいる。本講義では、調理法や加工技術の基本を、食品素材の構成成分あるいはそれらの集合体としての化学的性質、物理的特性を通して理解すると同時に食生活の実践の場で応用しうる能力を養う。

到達目標

食品素材の化学的・物理学的性質に基づいた調理・加工特性を理解し、実生活に応用できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	定期試験成績を全体評価の70%に充てる。
レポート課題	10%	レポートの評価成績を全体評価の10%に充てる。
上記以外	20%	講義内容の変わり目に小テストを実施する。全体成績評価の20%をこれを充てる。

期末テスト(70%)、小テスト(20%)、レポートなど(10%)を総合して評価するが、出席回数2/3以上の者を対象とする

授業外学習

講義受講に先立ち、本講義各回の内容の範囲に関連する食品学や生化学分野の履修内容を常に復習・予習しておく

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい食品加工学 食品の保存・加工・流通と栄養	小川 正他	南江堂	
2	新ガイドライン準拠・エキスパート管理栄養士養成シリーズ・調理学	青木三恵子他	化学同人	
3				

他の講義(食品学)や実習(調理実習)で使用する「日本食品標準成分表2015(7訂)」を常に本講義においても携行し参考にするのが望ましい

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学関連分野の知識の整理、調理学実習における基礎知識の復習

履修資格

講義名	食品微生物学							担当教員	浦部 貴美子 / 竹原 宗範
講義コード	1401480	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT236								

授業概要

食品微生物学は (a) 食品の加工、製造に関する微生物、(b) 食品保存中の変質をもたらす微生物、および (c) 食品衛生に関する微生物を対象とする学問である。本講義では、このような微生物についての基礎的な概念や知識を体系的に解説し、さらに食品の品質劣化に関わる微生物の制御や、食品製造における微生物利用、微生物における遺伝情報の流れとその利用技術の基礎について講義する。

到達目標

(1) 食に関わる微生物の種類、生育・代謝の概要を知ることができる。(2) 微生物を利用した食品加工・製造を理解することができる。(3) 食品の品質劣化に関わる微生物と、食品の品質管理における微生物制御の方法を理解することができる。(4) 微生物における遺伝情報の流れとその利用技術の基礎を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標の(1)～(4)について論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標の(1)～(4)について毎回小テストを行う。

授業時間数3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品微生物学	高見伸治ほか共著	建帛社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用微生物学・改訂版	村尾澤夫、荒井基夫共編	培風館	
2				
3				

適宜、参考となるプリント配布

前提学力等

履修資格

講義名	食料経済システム論							担当教員	増田 佳昭
講義コード	1401490	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	314BRM340-C, 334NUT373-C								

授業概要

グルメが謳歌される反面，わが国の食料自給率は40%である．食品企業の不祥事が相次ぎ，食の安全性や表示に関する消費者の懸念も強まっている．わが国の食料システムはいまどのような状況にあるのか．望ましい食料経済システムにはどのような要件が求められているのか．本講義では，食料経済システムの現状と問題点について具体的な品目を取り上げながら，多面的な視点から講義する．近江米や近江牛、野菜の地産地消など地域における農産物の生産と流通についても講述する。

到達目標

- (1) わが国の食料需給をめぐる問題点を説明できる。
- (2) 食品製造業、食品流通業、飲食業から成る食品産業の構成を説明できる。
- (3) 主要な農産物の需給と流通経路の概要について説明できる。
- (4) 食料システムの問題点と望ましい姿について自分の意見を述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末に食品産業理解に関するレポート課題を課す。
上記以外	60	中間時点でふりかえりテストを実施する(20点)、毎回課す出席レポート(40点)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	心理学基礎							担当教員	後藤 崇志
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201								

授業概要

現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などのテーマをとりあげる。心理学的なアプローチにより人間を理解しようとするための基礎的な知識や考え方を身に付けることを目的とする。

到達目標

- (1) 人の思考や行動、社会生活などを支える心の仕組みの基礎について理解を深める。
- (2) 人の心の仕組みを明らかにし、社会に活かそうとする科学的なアプローチについて理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	授業でとりあげたトピックについての課題認識および心理学の多様な内容と方法への理解によって評価する。
レポート課題	50%	授業中に提出を求める小レポートによって、受講者なりの問題理解と問題設定ができているかを評価する。
上記以外		

授業時に実験や質問紙調査などの心理学的な研究手法の体験学習をとりいれるので、積極的な参加を求める。

授業外学習

参考書や授業中に紹介する資料・ウェブサイト等を読み、授業内容についてより深く理解できるように努めることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめて出会う心理学	長谷川寿一他	有斐閣	9784641123458
2	心の科学 理論から現実社会へ [第2版]	兵藤宗吉・緑川 昌 編	ナカニシヤ出版	9784779511431
3	アカデミックナビ 心理学	子安増生 編	勁草書房	9784326251155

各回のテーマごとに、適宜、授業中に参考書を紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	スポーツ栄養学							担当教員	中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1401541	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT324								

授業概要

スポーツパフォーマンスを最大限に発揮するためには、適切な栄養摂取が欠かせない。体づくりと栄養およびスタミナと栄養の関係を中心に、スポーツ栄養学を科学的根拠に基づき理解する。

到達目標

- (1) 体づくり、スタミナ向上に好ましい栄養摂取法について説明できる。
- (2) 疲労の予防と回復に好ましい栄養摂取法について説明できる。
- (3) 体脂肪減少のための運動と栄養摂取法について説明できる。
- (4) 栄養サプリメントの効果を科学的に理解し、その摂取法を提案できる。
- (5) 最近のスポーツ栄養学のトピックスについて、理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	到達目標の(1)～(4)について定期試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20%	到達目標の(4)と(5)については、授業時間内に自主学習の内容を発表し、その要旨をまとめたものを提出する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スポーツと健康の栄養学	下村吉治	NAP	978-4-905168-01-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活栄養論演習						担当教員	学科教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 小澤 恵子 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1401546	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	334NUT392								

授業概要

生活栄養学科で履修する専門基礎分野と専門分野の各科目をトータルに捉え、生活栄養学科の教員の研究テーマにそって、課題に向けた研究計画や研究方法をアレンジする。そのことによって、人間健康学に関わる各科目を横断し、人の栄養および健康状態を評価し、管理していく上で必要とされる様々な知識や技術を習得する。

到達目標

生活栄養学科の管理栄養士履修専門科目の総合的な理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各指導教員が、質疑応答などにより人間健康学についての理解度を評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

生活栄養学科専門科目のほとんどの科目の履修を済ませておくこと

履修資格

講義名	生活栄養論演習						担当教員	学科教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 小澤 恵子 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1401548	単位数	2	開講期	通年	授業種別			演習
ナンバリング番号	434NUT492								

授業概要

生活栄養学科で履修する専門基礎分野と専門分野の各科目をトータルに捉え、生活栄養学科の教員の研究テーマにそって、課題に向けた研究計画や研究方法をアレンジする。そのことによって、人間健康学に関わる各科目を横断し、人の栄養および健康状態を評価し、管理していく上で必要とされる様々な知識や技術を習得する。

到達目標

生活栄養学科の管理栄養士履修専門科目の総合的な理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各指導教員が、質疑応答などにより人間健康学についての理解度を評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活栄養論演習							担当教員 学科教員/今井 絵理/遠藤 弘史/ 奥村 万寿美/小澤 恵子/佐野 光枝/ 中井 直也/東田 一彦/廣瀬 潤子/ 福渡 努/森 紀之/矢野 仁康
講義コード	1401548	単位数	2	開講期	通年	授業種別	演習	
ナンバリング番号	434NUT492							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	本演習についての説明を行う
第2回	指導教員による講義	各々の指導教員が、研究テーマにそって課題に向けた研究計画や研究方法についての説明を行う
第3回	指導教員による講義	同上
第4回	指導教員による講義	同上
第5回	指導教員による講義	同上
第6回	指導教員による講義	同上
第7回	指導教員による講義	同上
第8回	指導教員による講義	同上
第9回	指導教員による講義	同上
第10回	指導教員による講義	同上
第11回	指導教員による講義	同上
第12回	指導教員による講義	同上
第13回	指導教員による講義	同上
第14回	指導教員による講義	同上
第15回	指導教員による講義	同上
第16回	指導教員による講義	同上
第17回	指導教員による講義	同上
第18回	指導教員による講義	同上
第19回	指導教員による講義	同上
第20回	指導教員による講義	同上
第21回	指導教員による講義	同上
第22回	指導教員による講義	同上
第23回	指導教員による講義	同上
第24回	指導教員による講義	同上
第25回	指導教員による講義	同上
第26回	指導教員による講義	同上
第27回	指導教員による講義	同上
第28回	指導教員による講義	同上
第29回	指導教員による講義	同上
第30回	指導教員による講義	同上
担当者から一言		

講義名	生活経営論							担当教員	山田 歩
講義コード	1401560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	333MKD282, 234NUT371, 335LAH308								

授業概要

この授業では、私たちを取りまく生活環境を学び、現在そして将来、私たちの生活をよりよくマネジメントする力とそれらを改善する力を身につけることを目標とします。身近な生活課題をとりあげると同時に、ソーシャル・デザインの視点から展開されている様々なコミュニケーション施策をみていくことで、現在と将来の自分の生活を見つめ直し、それらをよりよいものに設計することに役立ててもらいたいと考えます。授業では受講生みずからも課題を発見し、それを解決するアイデアを考えてもらいます。

到達目標

1. 私たちを取りまく生活環境を理解しているか
2. 社会や生活者が抱える課題を発見し、それらを解決する力を身につけているか

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	社会や生活者が抱える課題を発見する力、また、それらを解決する力について評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アイデアは地球を救う。希望をつくる仕事 ソーシャルデザイン	ソーシャルデザイン会議実行委員会	宣伝会議	
2	Communication Shift	並河進	羽鳥書店	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生体の構造と機能							担当教員	矢野 仁康
講義コード	1401730	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT241								

授業概要

人体の構造としての骨格系、筋肉系、神経系、循環器系、消化器系、感覚器系、生殖器系の成り立ちを臓器レベル、組織レベル、細胞レベル、分子レベルにおいて理解し、その機能発現の仕方を学ぶ。また、人体の形態、構造と機能の関係を正しく理解できるように、図を用いて人体に関する基礎知識をわかりやすく講義する。

到達目標

正常な身体の構造を知り、その機能が理解できる
 人体を機能的・臓器別に分類し、その構造と仕組みが理解できる
 解剖学と生理学の知識の融合により、人体の構造と機能が総合的に理解できる
 体の構造と働きに関する基礎知識や考え方を通して、臨床医学の理解が可能となる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示す、正常な身体の構造を知り、その機能が理解できる 人体を機能的・臓器別に分類し、その構造と仕組みが理解できる 解剖学と生理学の知識の融合により、人体の構造と機能が総合的に理解できる、体の構造と働きに関する基礎知識や考え方を通して、臨床医学の理解が可能となる、については、定期試験(100%)で
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	解剖生理学	佐藤達夫 他	医歯薬出版	ISBN4-263-70232
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため単元ごとにプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	生命科学と人間							担当教員	未定*
講義コード	1401740	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT311								

授業概要

生命を維持するため、あるいは健康を維持するため、あるいは生活習慣病にならないようにするために必要な情報が氾濫している。この中には、生命を脅かすまがい物の情報もある。正しい情報と誤った情報を判断する力が必要である。本講義では、管理栄養士として必要な正しい情報と誤った情報を判断する基盤となる生命科学に関連する最低限の知識を学ぶ。

到達目標

管理栄養士として必要な正しい情報と誤った情報を判断する基盤となる生命科学に関連する最低限の知識を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	講義の進捗に応じてレポートと小テストを適宜課す。
上記以外	0	

講義時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	専門外書講義							担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 福渡 努 / 森 紀之
講義コード	1401781	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT391								

授業概要

栄養学分野の研究内容について理解を深めるとともに、英文の読解力を養うことを目的とする。栄養学分野の専門学術雑誌に掲載されている英文科学論文を教材として、予習を前提としたうえで、担当教員が解説を行う。

到達目標

栄養学分野の専門学術雑誌に掲載されている英文科学論文から必要な情報を引き出すための基礎的な読解力を身につけること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	
上記以外	20	講義の進捗に応じてレポートと小テストを適宜課す。

講義時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（生活栄養）							担当教員 学科教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 小澤 恵子 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康
講義コード	1401810	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	434NUT493							

授業概要

生活栄養論演習II（平成23年度以前入学生は食生活論演習）での指導に従い、各自の設定した課題について、実験、調査による研究を行い、論文としてまとめ、提出させる

到達目標

各指導教員ごとに異なることから、指導教員が初回の講義において説明する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	卒業研究発表会ならびに卒業論文の提出を行い、全教員により評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

生活栄養学科専門科目を履修していること

履修資格

講義名	地域保健臨地実習							担当教員	今井 絵理
講義コード	1402040	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT381								

授業概要

学外（地域保健活動の第一線機関である保健所や市町村保健センター）において、多職種との関わり方や住民の保健増進のために実施されている事業を通して、地域保健の全体像および組織の中での健康づくり対策の実際を学ぶ。

到達目標

- (1) 行政栄養士と連携した多職種との活動が理解できる。
- (2) 地域保健活動の実践現場で、行政栄養士の果たす役割が理解できる。
- (3) 保健所、保健センターの役割・業務の概要と両者の関係を説明できる。
- (4) 県と市町村をつなぐ保健所栄養士の役割が理解できる。
- (5) 地域住民の健康、福祉等に関わる業務内容とその主な役割を説明できる。
- (6) 地域住民を対象とした健康教育、例えば「健康・栄養教室」等の企画、広報、実施、評価、フィードバック等の一連のプロセスを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題目標に対して、レポート（50%）と毎回提出の報告書（50%）で評価する。
上記以外		

実習に欠席した者は評価対象としない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	天然物化学基礎							担当教員	遠藤 弘史 / 森 紀之
講義コード	1402280	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT105, 135LAH205								

授業概要

高校で学習する「化学」の内容も含め、無機化学・有機化学・物理化学・分析化学・生化学の基礎的な内容について、身近な「食生活」を中心テーマとして学習する。

到達目標

- 1 化学構造式を用いて分子の表現と理解ができる
- 2 様々な化学反応について理解し熱力学的な説明ができる
- 3 物質の物理化学的動態の基本が理解できる
- 4 基本的な酵素反応が理解できる
- 5 食品成分の構造およびその化学的变化について理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標の1～5において、それぞれ20点分の計100点でその理解を問う筆記試験をおこなう。
レポート課題	0	
上記以外	0	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業当日までに教科書の該当箇所を読み、分からないことを明らかにしておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食を中心とした化学	北原重登 他	東京化学社	978-4-8082-3044-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	統計学基礎							担当教員	細馬 宏通
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203								

授業概要

最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、数式を意識しなくとも気軽に統計をあつかえるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから手をつけていいかとまどう人が多い。そもそもなぜそのデータに対して統計的処理を行なう必要があるのか。データにはどんな性質があるか。どんなタイプのデータにはどんな手法がふさわしいのか。どんな手法を使うとどんな結果が引き出されるのか。本講義では、以上のような問題を念頭に置きながら、標本や母集団などの基本的概念から出発して、推定や検定、検証的アプローチと探索的アプローチの基本的な知識を扱う。

到達目標

- (1) 母集団と標本の概念を身につける。
- (2) 相関を含む記述統計量の基本的な使い方を習得する。
- (3) 推定と検定の基本手順を習得する。
- (4) 日常生活で用いられる統計学的な考えに関心を持ち、検証する態度を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	全回で扱った統計学的知識が正しく理解できているかを問う。
レポート課題		
上記以外	30%	小テスト(随時)：各回で扱った統計学的知識を理解しているかを問う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	完全独習 統計学入門	小島寛之	ダイヤモンド社	4478820090
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間行動論							担当教員	細馬 宏通
講義コード	1402530	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT212, 135PSY202								

授業概要

アニメーション史の中で、「口」という器官は音声と映像とを結びつけるための重要な役割を担ってきた。口を開閉して話すこと、歌うこと、口に食物を入れ、咀嚼とともに顔を動かすこと。これらの基本的な活動が、映像の歴史の中でいかに扱われてきたかを明らかにし、わたしたちの「口」のあり方を見直すとともに、人の身体が口を中心としていかに複合的な活動を行うかを考える。

到達目標

- (1) 口が映像文化の中で担ってきた役割を理解する（知識・理解）。
- (2) 食べる・話す・歌うという行動が身体全体で調整される活動であることを理解する（知識・理解）。
- (3) 自ら映像を収集し、そこで表現されている口と身体を比較しながら自分の力で批評できる（興味・関心/思考）。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	中間レポート(50%)、期末レポート(50%)
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ミッキーはなぜ口笛を吹くのか	細馬宏通	新潮社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

とくになし

履修資格

講義名	人間文化論 A							担当教員	細馬 宏通 / 市川 秀之 / 今井 絵理 / 島村 一平 / 森下 あおい
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102								

授業概要

人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5つのレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。

到達目標

- (1)人間の文化に関する知識を幅広く身につけ、理解できる。
- (2)学問領域を越えて、多様なできごとに興味と関心を持つ態度を持つことができる。
- (3)自分の領域で直面している問題に対して、他領域の人々とディスカッションを行い、柔軟な思考と判断を行うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート課題（学生による学科間ディスカッションによるもの）
上記以外	50	各対談時のリスポンスペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	定森 秀夫 / 石川 慎治 / 河 かのる / 武田 俊輔 / Borjigin Burensain	
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別			講義
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103								

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。
本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論C							担当教員 宮本 雅子 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 中村 好孝 / 東田 一彦 / 福渡 努 / 松嶋 秀明 / 森 紀之 / 横田 尚美
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。

この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。衣食住の中で、食が、一番夢がないといわれている。「カラダのためにコレを食べなさい、コレは食べてはいけません」、といわれ続け、説教食事学といわれています。この講義では、科学的根拠に基づいて、食事や栄養成分が健康や身体に及ぼす影響について論じる(中井・福渡・遠藤・森・東田)。

さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる。

(中井・福渡・遠藤・森・東田)食事や栄養成分が健康や身体に及ぼす影響について理解することができる。

(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的な社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	(宮本・横田)到達目標の(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること、(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる、については、課題レポート(33%:(1)19%、(2)14%)

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	比較食文化論							担当教員	的場 輝佳 / 玉城 一枝 / 堀越 昌子
講義コード	1402670	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT132								

授業概要

食物と生活との関係を、食文化を背景にして自然科学的および人文的視点から講義する。地球上で起こる食物連鎖の様相を解説し、連鎖の中心に立つ人間の食生活の歴史の変遷を教育することにより、我々の食環境の未来像を考える手がかりとなる情報を提供する。滋賀県をはじめ世界各地の風土で育まれてきた伝統的な食文化を学び、将来の食への展望を持つ。人類の歴史と食との関係を知ることによって、食文化の変化・発展を理解し、将来と現代の食文化の問題を理解する。

到達目標

我々の食環境についての未来像を考えることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について、レポート (50%)、小テスト (50%) で評価する。

日程調整に伴い、授業計画の順序を変更することがある。
遅刻や欠席の要素を加味して成績評価を行う。
3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	病態生理学実習							担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史
講義コード	1402750	単位数	1	開講期	後期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT347								

授業概要

栄養状態とその異常を生理、生化学的に把握する方法論を実習することにより、栄養と疾患との関係の理解を深める。ヒトの細胞からの蛋白質・核酸の抽出法やその解析法を学ぶ事で、栄養学に不可欠な蛋白質・核酸の代謝について理解する。視聴覚資料を用いて人体の構造についての理解を深める。

到達目標

細胞からの蛋白質・核酸の抽出法やその解析法を学ぶ事で、栄養学に不可欠な蛋白質・核酸の代謝について理解できる
 口腔細胞から自身の核酸を抽出して、PCRを行う事で現在様々な分野で用いられる遺伝子解析についてその原理や手法を理解できる
 視聴覚資料を用いて人体の構造についての理解ができる
 臨床医学の実践活動に重要な疾病の成り立ちを実験を通して理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	細胞からの蛋白質・核酸の抽出法やその解析法を学ぶ事で、栄養学に不可欠な蛋白質・核酸の代謝について理解できる 口腔細胞から自身の核酸を抽出して、PCRを行う事で現在様々な分野で用いられる遺伝子解析についてその原理や手法を理解できる 視聴覚資料を用いて、人体の構造についての理解できる、については各々の実習につき提出
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	病態評価と治療							担当教員	矢野 仁康
講義コード	1402760	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT342								

授業概要

疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる

到達目標

疾患診断と治療の概要を理解することができる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の成因・病態の概要を理解できる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示した、疾患診断と治療の概要を理解することができる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の成因・病態の概要を理解できる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる、 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療に
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床栄養学	佐藤和人 他	医歯薬出版	ISBN978-4-263-70572-8
2	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	香川靖雄 他	南江堂	ISBN978-4-524-26029-4
3	臨床病態学	伊藤節子	化学同人	ISBN4-7598-1207-5

上記3つの教科書から一つを選び準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	分子生物学基礎							担当教員	佐野 光枝
講義コード	1402990	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT141								

授業概要

生命を分子や遺伝子のレベルでとらえる分子生物学の発展は目覚ましく、ヒトのゲノム解読が終了してなお、我々の生命現象を解明するために残された多くの課題について日々研究が進められている。本授業は、食物から摂取する栄養素や食品成分が分子レベルでどのように働くかを分子生物学的見地から解説する。講義は基本的な遺伝子のメカニズムから疾病と遺伝子や栄養素との関係まで幅広く取り扱う。

到達目標

- (1) 分子生物学の基礎を理解する
- (2) 分子生物学の視点から代謝、疾病や栄養について理解する
- (3) 分子栄養学や遺伝子技術の応用について理解し、説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	試験問題の正答率
レポート課題		
上記以外	20	小テスト(一回)の正答率

授業時間の数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

なし

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生活習慣病の分子生物学	佐藤隆一郎ら	三共出版	978-4-7827-0532-2
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

なし

前提学力等

なし

履修資格

講義名	臨床栄養学							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403130	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT351								

授業概要

目指すべき管理栄養士像は、人間の健康の維持・増進、疾病の発症予防・重症化予防、および生活の質（QOL）の向上を目指して、望ましい栄養状態・食生活の実現に向けての支援と活動を、栄養学・健康科学等関連する諸科学をふまえて実践できる「栄養と食の専門職」である。
臨床栄養学とは、疾病に罹患した患者さんの栄養学的な問題を扱う学問である。
医療・福祉分野において実施される栄養管理・栄養ケアプロセスに必要な専門的知識・技術・態度のみならず、チーム医療（NST）の一員としての幅広い知識・技術・コミュニケーションなど基礎的知識を学習する。
本授業では、栄養管理・栄養ケアプロセスに焦点を絞り、基礎的知識を修得する。
【授業の目的】 個々の患者やクライアントの病態や症状、栄養状態に基づいた適切な栄養ケアを提供する能力を身につける。

到達目標

臨床栄養学を実践するための基本的技術となる傷病者の身体状況、病態、栄養状態に基づいたNCPの実践能力を養うことを目標とする。
(1) 医療・福祉における管理栄養士の職務とチーム医療における役割が理解できる。
(2) 臨床NCMの意義およびそのプロセスについて概説できる。また、栄養診断ができる。
(3) NCMの基礎となる栄養状態のアセスメント（SGA・ODA、各種栄養パラメーター）の理解とその評価
(4) POSに基づいた診療録を理解し、説明できる（書ける）。
(5) 薬と栄養・食物の相互作用を理解し適切な食品が選択できる。また保健機能食品、サプリメント、治療用特殊食品について、用途別の使い方や特徴を説明できる。
(6) 栄養補給法の概説とそれぞれの長所・短所、適応疾患・症状を説明できる。また経腸・静脈栄養法で用いられる栄養剤・栄養食品と栄養管理法

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標で示す評価の配分は、(1)15%、(2)5%、(3)50%、(4)10%、(5)10%、(6)10%により評価する。
レポート課題		
上記以外	30	適宜、到達確認テストにより理解度のチェックを行う。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カレント臨床栄養学	編者：明渡洋子・長谷川輝美・山本大治	建帛社	978-4-7679-0532-7
2	臨床栄養管理ポケット辞典	松崎政三 他	建帛社	978-4-7679-6178-1
3	臨床調理 第6版	玉川和子	医歯薬出版	978-4-263-70634-3 C3047

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

生体の構造と機能、疾病の成り立ちを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	臨床栄養学							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403140	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT353								

授業概要

各疾患の成り立ちや病態、病状等の実態を把握するとともに、栄養パラメーターや臨床検査の結果などに基づいた栄養アセスメントにより、適切な栄養診断および栄養評価を行う。
 各疾患ごとに具体的な栄養治療計画を立案し、実践するための方法論について学ぶ。
 医療の場における現状を踏まえ、臨床栄養師としてチーム医療に参画し、総合的なケアプランの中に占める栄養評価、栄養管理の方法について具体的な事例、実際の栄養食事指導例をもとに傷病者に対する栄養管理・栄養指導上の問題点を見だし、臨床における栄養治療について理解を深める。

到達目標

- (1) 各疾患の病態とその治療方針が理解できる。各学会が示す診療ガイドライン（特に栄養基準および食事療法）について概説が説明できる。
- (2) 病状の改善や疾病の治療・回復に効果的な栄養食事療法の基本方針を理解し、仮想症例に対する栄養ケアプロセスが理解できる。
- (3) 栄養評価ができる
- (4) 疾病と薬物療法について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標の(1)20%(2)60%(3)10%(4)10%
レポート課題		
上記以外	30	適宜、到達確認テストにより理解度チェックを行う。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

受講にあたって、各学会から示されている治療ガイドライン、診断基準など最新の治療指針を各学会のホームページやサイトより検索しておくことと理解しやすい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	糖尿病食事療法のための食品交換表第7版	日本糖尿病学会編	文光堂	978-4-8306-6046-7 C 3047
2	腎臓病食品交換表第8版	黒川清監修	医歯薬出版	978-4-263-70557-5 C 3047
3	糖尿病治療ガイド2016-2017	日本糖尿病学会	文光堂	978-4830613876

「カレント臨床栄養学」を継続して使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する。

前提学力等

生体の構造と機能、疾病の成り立ちを履修していること。また、臨床栄養学、臨床栄養学実習を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	臨床栄養学							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403141	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	334NUT354								

授業概要

各疾患の成り立ちや病態、病状等の実態を把握するとともに、栄養パラメーターや臨床検査の結果などに基づいた栄養アセスメントにより、適切な栄養診断および栄養評価を行う。各疾患ごとに具体的な栄養治療計画を立案し、実践するための方法論について学ぶ。

医療・介護保険制度や特定保健指導など、医療サービスに関与する限り「費用対効果＝経済」を追究していかなければならない。経済学的視点から臨床栄養学を学ぶ。また、栄養治療を円滑に進めるための栄養教育について、行動経済学的手法を組み入れて、患者心理との関係についても学び考える。さらに、在宅医療、地域連携と生活習慣病および介護の予防対策との関わりについて理解する。

到達目標

- (1) 小児および妊婦・授乳婦・授乳婦・障がい者の特性・病態と治療方針が理解できる。
- (2) 個人のさまざまな特性、病態を考慮した総合的なNCMの考え方について理解し、仮想症に対するNCMができる。
- (3) 医療・介護保険制度、特定保健指導の概説を理解し、説明できる。
- (4) チーム医療、医療連携、クリニカルパスについて理解し、説明できる。
- (5) 経済学的視点から臨床栄養経済を理解することができる。
- (6) 栄養教育における食事療法と患者心理との関係について行動経済学的手法を用いて理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標で示す、(1)～(5)については、70%：(1)10% (2)20% (3)10% (4)10% (5)(6)20%
レポート課題	20	課題レポート
上記以外	10	到達確認テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カレント臨床栄養学	明渡洋子 他	建帛社	978-4-7679-0532-7
2	栄養ケアマネジメント論 経済学から見た栄養管理	福井富穂	化学同人	978-4-7598-1495-8
3				

カレント臨床栄養学（臨床栄養学）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します。

前提学力等

臨床栄養学、臨床栄養学、臨床栄養学実習Ⅰ、臨床栄養学実習Ⅱを履修していることが望ましい。栄養ケア・マネジメントの理解と各疾患における栄養食事療法が理解できていること。

履修資格

講義名	臨床栄養学実習							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403151	単位数	1	開講期	後期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	234NUT352								

授業概要

栄養ケアプロセス（MCP）を実践するための基本的技術となる、栄養アセスメントに必要な臨床情報の収集方法や栄養パラメーター、すなわち、身体計測の測定、生化学検査に基づく数値の変化、呼気ガス測定による安静時代謝量の測定、疾病時における臨床検査値の評価と診断、食事調査などを実践を通じて学ぶ。栄養治療計画（栄養教育、栄養補給、他職種からの栄養ケア）やPOSに基づいた記録の方法など仮想症例より学ぶ。また、治療食の食事計画立案に関する基礎を学ぶ。

到達目標

栄養ケアプロセスを実践するための基本的技術となる、食事計画の実践および栄養アセスメントに必要な栄養パラメーターについて理解し、適切な栄養アセスメント、栄養ケアプランへと応用できる。

- (1) 情報収集のための各調査の方法と評価ができる。
- (2) 各種栄養パラメーターを評価し、栄養ケアプランへと応用できる。
- (3) 栄養ケア・マネジメントの基礎的な知識を修得し、実践への応用（臨床栄養学・ ）へと繋げることができる。
- (4) POSに基づいた、診療記録が書ける。
- (5) 患者年齢構成表に基づく給与栄養目標量とその食品構成が作成できる。
- (6) 展開食を理解し、治療食献立の作成および適切な食品の選択・調理上の工夫ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各授業で実施される課題レポートによる評価。到達目標に示す (1) 30% (2) 30% (3) 10% (4) 10% (5) 5% (6) 15%。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	調理のためのベーシックデータ		女子栄養大学出版部	978-4-7895-0317-4
2	臨床栄養管理ポケット辞典	松崎政三	建帛社	978-4-7679-6178-1
3	臨床調理 第7版	玉川和子	医歯薬	978-4-263-70652-7

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本人の食事摂取基準2015			
2	5訂補食品成分表			
3				

授業中にプリント配布する等

前提学力等

履修資格

講義名	臨床栄養学実習							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403152	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT355								

授業概要

栄養ケアプランに基づく食事計画の演習と臨床調理実習
 症例の栄養ケアプランに基づき食事計画を立案し、実際に調理し、試食する。対象者の臨床所見や症状だけでなく個人の嗜好・調理能力を考慮した食事計画の立案と多様な制限下での食品の選び方、調理上の注意と工夫、食環境（盛り付け・食卓など）について学習する。また、傷病者に対する食事の提供（病院食）は、患者の生活習慣や食習慣を尊重しつつ、病態、病状等の変化に応じた疾病治療のための食事の提供を行い、患者のQOLを低下させないよう配慮することを学ぶ。腎臓病や糖尿病、糖尿病性腎症食品交換表の活用法についても学ぶ。

到達目標

- (1) 症例の栄養ケアプランに基づき、患者の臨症的な所見や症状だけでなく、個人の嗜好・調理能力などを考慮し、食べる人の立場に立った治療食の提供を行うために必要な知識・技術を修得する。
- (2) 病態や身体機能に適した治療用特殊食品を選択することができる。また、患者のQOLの向上に寄与できるよう、使用上の留意点や問題点を説明し実践に応用できる。
- (3) 糖尿病・腎臓病・糖尿病性腎症の食品交換表の概説でき、活用することができる。
- (4) 調理実習・試食により、制限の多い臨床調理における調理技術やその工夫を修得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1・2・4)について、栄養ケアプランに基づき食事計画を立案し、実際に調理し味わうことにより以下の項目について評価する(50%)。a.治療計画に沿った栄養・食事計画であったか b.食事は対象者に満足を与えることができたか c.食事形態は患者の安全性が確保されているか d.食事を提供する諸条件(設備、調理能力、経済性)
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	糖尿病食事療法のための食品交換表第7版	日本糖尿病学会編	文光堂	
2	腎臓病食品交換表第8版	黒川清	医歯薬出版	
3	臨床調理 第7版	玉川和子	医歯薬出版	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する等

前提学力等

臨床栄養学、臨床栄養学実習を履修していることが望ましい。並行して臨床栄養学の傷病者の病態と栄養状態に基づいた栄養ケアプロセスについて理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	臨床栄養学実習						担当教員	未定*	
講義コード	1403153	単位数	1	開講期	後期	授業種別			実習
ナンバリング番号	334NUT356								

授業概要

臨床栄養学（実習含む） ・ 学んだ、NCMに必要な知識・技術・態度を統合し、チーム医療に参画できる能力を身につけます。本授業では、仮想症例に対して、患者の主訴、臨床所見、食行動などから病態・栄養状態を評価、診断し、人間栄養学に基づいた栄養ケアプランの立案、実施、モニタリング、評価を具体的に実践します。診療報酬に関わる栄養関連報告書などの作成スキルの向上。症例カンファレンスやプレゼンテーション、ディベートを通じて、相手に分かる言葉（内容）で伝えることや相手の意見を理解・尊重して聴くことを学びます。

到達目標

- (1) 事例・症例に対して栄養ケアプランに必要な情報収集とその理由が説明できる。
- (2) 目標設定、栄養ケアプランの作成とその根拠を説明できる。
- (3) モニタリング・再評価・計画の作成、他専門職との連携が説明できる
- (4) 診療報酬に関わる栄養関連報告書の記入が適切にできる。
- (5) グループワークにおいて、コミュニケーションがとれ、リーダーシップを発揮することができる。
- (6) 自分の意見を相手にわかりやすく伝えられること、また、相手の意見を聴き理解・尊重することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)～(4)については栄養関連報告書の内容による評価する。(70%) 到達目標(5)コミュニケーションおよびリーダーシップ能力を評価する。(10%) (6)プレゼンテーション、意見交換、ロールプレーなどにより評価する。(20%)

5分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

各授業での課題が時間内で終わらない場合は宿題となる。指定の提出日に遅れると減点の対象となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

臨床栄養学（実習） ・ に準じる。そのほか適宜プリントなどを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学、臨床栄養学実習、臨床栄養学、臨床栄養学実習を履修していることが望ましい。受講に際して、各疾患の病態と栄養状態を診断・評価し、その結果を踏まえた栄養ケアプランの作成、栄養食事療法（栄養補給法）を理解してい

履修資格

講義名	臨床栄養活動論							担当教員	小澤 恵子 / 廣瀬 潤子
講義コード	1403160	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	134NUT242								

授業概要

急増している生活習慣病について、第3次予防、第2次予防、第1次予防における生活習慣の改善に関する管理栄養士の活動について学ぶ。生活習慣病治療あるいは予防対策として自ら危険因子の軽減・除去および健康増進を図るヘルスプロモーションがすすめられている。治療を主とする医療分野において活動する管理栄養士についても幅広い医療人としての自覚と見識が求められている。臨床栄養活動の場を病院、診療所等に限定することなく、学校、事業所、福祉施設、あるいは地域住民を含め健康の維持・増進施策、特に食生活の改善による疾病予防、あるいは疾病の増悪阻止、快復などにどのように対応していくのか学ぶ。

到達目標

- (1) 管理栄養士制度の歴史について説明できる
- (2) 管理栄養士の役割について説明できる
- (3) 世界の管理栄養士の活動について説明できる
- (4) 生命倫理について広い視野から考察できる
- (5) 管理栄養士の職業倫理について説明できる
- (6) 活躍する管理栄養士の様子を聞き、自分自身の職業感を考察できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	前半1～8回(全体の50%):(1)管理栄養士制度の歴史について説明できる(10%)、(2)管理栄養士の役割について説明できる(5%)、(3)世界の管理栄養士の活動について説明できる(5%)、(4)生命倫理について広い視野から考察できる(10%)、(5)管理栄養士の職業倫理について説明できる(10%)、(6)活躍する管理栄養士
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨地・校外実習の手引き	木戸・福井編	化学同人	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	臨床栄養臨床実習							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403170	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT382								

授業概要

臨床実習は、実践活動の場での課題の発見、解決を通じて、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技術を修得することを目的とする。

課題発見（気づき）・問題解決

- 実習施設での気づき
 - 栄養状態不良の患者が多いことに気づく。
 - 患者にとって食事がいかに大切で、楽しみなものであるかに気づく。患者への思いやりの気持ち。
 - 人により食事に対する考え方や感じ方が多種多様であることに気づく。
 - 予定外や予想外の出来事や要求に柔軟に対応する必要があることに気づく。
 - 医療において管理栄養士業務の大切さに気づく。
 - 入院から退院に至るまでの病状や栄養状態が刻々変化し、それに対応する必要性に気づく。

専門的知識と技術の統合

到達目標

傷病者の病態や栄養状態の特長に基づいた適正な栄養管理を行う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	施設からの課題および自主課題におけるレポート作成（50%）
上記以外	50	施設評価（各項目ごとに5段階で評価） <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間、指示、規則を守っていたか（10%） ・ 身だしなみが実習に適切であったか（10%）

臨床実習1単位を取得するためには、45時間が必要である。実習時間が不足すると単位が認められないことがあるので留意する。実習先における臨床・校外実習評価表も含めて評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 、 臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 を履修していること、

履修資格

講義名	臨床栄養臨床実習							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1403180	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	334NUT383								

授業概要

臨床実習は、実践活動の場での課題の発見、解決を通じて、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技術を修得することを目的とする。

課題発見（気づき）・問題解決

- 実習施設での気づき
 - 栄養状態不良の患者が多いことに気づく。
 - 患者にとって食事がいかに大切で、楽しみなものであるかに気づく。患者への思いやりの気持ち。
 - 人により食事に対する考え方や感じ方が多種多様であることに気づく。
 - 予定外や予想外の出来事や要求に柔軟に対応する必要があることに気づく。
 - 医療において管理栄養士業務の大切さに気づく。
 - 入院から退院に至るまでの病状や栄養状態が刻々変化し、それに対応する必要性に気づく。

専門的知識と技術の統合

到達目標

傷病者の病態や栄養状態の特長に基づいた適正な栄養管理を行う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	施設からの課題および自主課題におけるレポート作成（50%）
上記以外	50	施設評価（各項目ごとに5段階で評価） <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間、指示、規則を守っていたか（10%） ・ 身だしなみが実習に適切であったか（10%）

臨床実習1単位を取得するためには、45時間が必要である。実習時間が不足すると単位が認められないことがあるので留意する。実習先における臨床・校外実習評価表も含めて評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 、 臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 を履修していること、

履修資格

講義名	臨地実習事前事後指導							担当教員	奥村 万寿美 / 今井 絵理 / 小澤 恵子
講義コード	1403200	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	演習		
ナンバリング番号	334NUT385								

授業概要

臨地実習の事前と事後に集中で行う。事前実習では、管理栄養士の実践活動の場である保健所、事業所、病院などにおける役割や業務内容、必要な知識・技術（臨床栄養学、栄養教育論、公衆栄養学、栄養ケアマネジメント論、給食経営管理論で習得済）を再度確認し、臨地実習をより意義のあるものとする。また、事後実習では、臨地実習で体験した様々なプログラムやそこで得られた新しい知見などを臨地実習場所ごとに発表を行い、臨地実習を自分自身の中で、より明確なものとし、そこでの体験や知識等を他の学生と共有する。

到達目標

(1) 事前指導では、「給食経営管理論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」における臨地実習の意義・目的を理解し、さらに保健所、特定給食施設（病院、学校、福祉施設）等における管理栄養士の役割や、業務内容、必要な知識・技術を再確認し、理解を深めることが出来る。そこから、それぞれの施設での実習に向けた課題を設定することができる。
(2) 事後指導では、臨地実習で体験した様々なプログラムや、そこで得られた新しい知見などを臨地実習場所ごとに発表を行い、臨地実習で得た知識・理解を、自分自身の中で、より明確なものとし、さらにそれぞれの体験や知識等を他の学生と共有する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1)については、実習前課題レポート(40%)、(2)については臨地実習報告書(60%)で評価する。
上記以外		

完全出席が基礎条件となる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨地・校外実習のてびき第2版	木戸詔子 福井富穂	科学同人	978-4-7598-1195-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	認定病態栄養専門師のための病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会編	メディカルビュー社	978-4-7792-1084-6
2				
3				

前提学力等

履修資格

